

市立秋田総合病院
改築基本構想（案）

平成〇〇年〇月

地方独立行政法人市立秋田総合病院

目 次

第1章 周辺環境と本院の状況	1
1 秋田周辺医療圏の医療需給状況	1
(1) 医療圏の概要	1
(2) 医療圏および秋田市の人口推移	1
(3) 病床利用率と平均在院日数	3
(4) 医療従事者の状況	3
(5) 病院の配置状況	4
(6) 疾病動向	6
(7) 医療圏内の病院機能	10
2 本院の状況	12
(1) 病院概要	12
(2) 敷地概要	13
(3) 既存建物概要	13
(4) 現病院配置図	14
(5) 職員数の動向	15
(6) 患者動向	17
3 病床機能および病床規模	28
(1) 必要病床数の推計	28
(2) 病床規模	34
4 外来機能の検討	34
(1) 想定外来患者数	34
(2) 外来診療科目	34
5 秋田周辺医療圏および本院に係る課題	35
(1) 基本分析からの課題	35
6 建替えの必要性	36
(1) 建物の老朽化	36
(2) 建物の狭あい化	36
(3) 医療技術の高度化への対応	36
(4) 職員の環境の改善	36
(5) 高齢化の進展等への早期の対応	36
第2章 全体計画	37
1 新病院の理念と基本方針	37
(1) 理念	37
(2) 基本方針	37
2 主要な診療機能の取組方針	37
(1) 5疾病における本院の医療体制	37
(2) 5事業における本院の医療体制	38



第1章 周辺環境と本院の状況

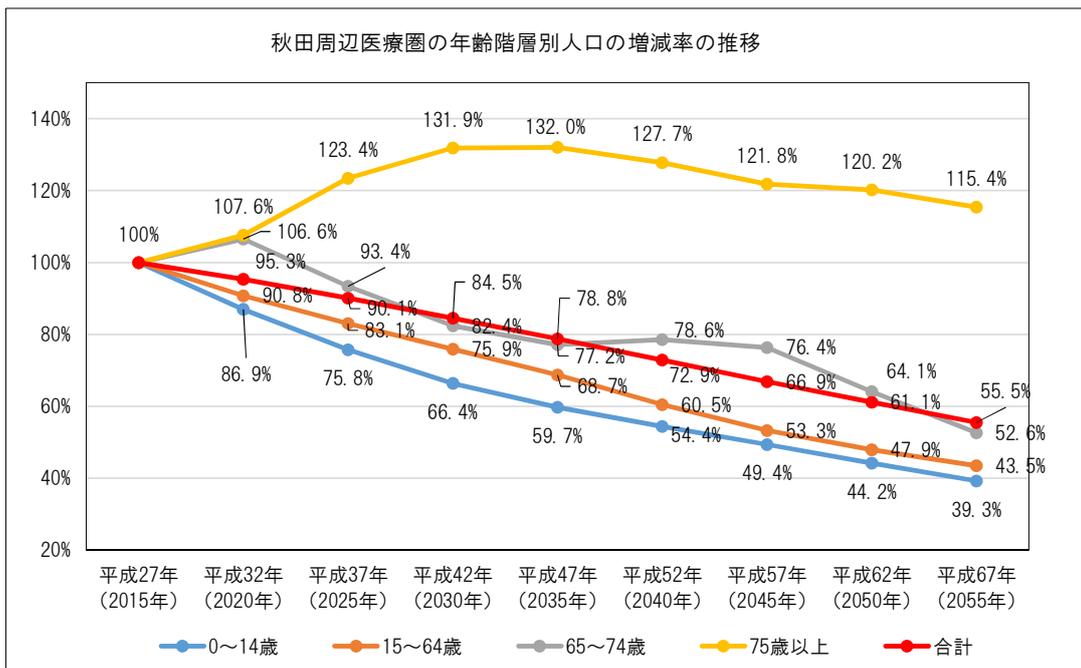
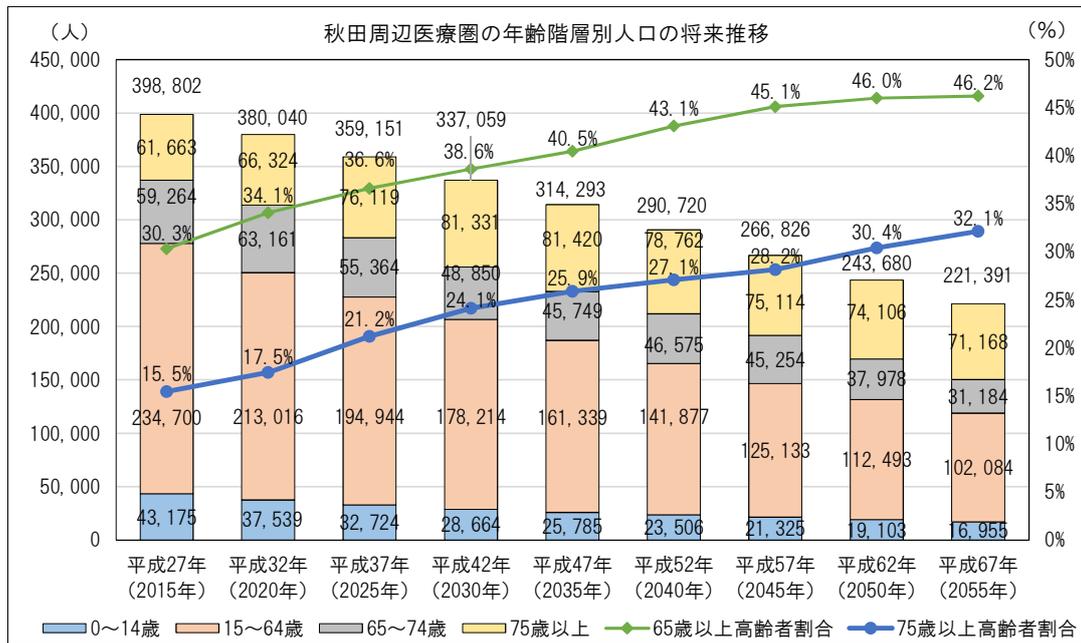
1 秋田周辺医療圏の医療需給状況

(1) 医療圏の概要

秋田周辺医療圏は、中核市である秋田市と、男鹿市、潟上市、南秋田郡の各市町村で構成され、秋田県内の8つの二次医療圏の中で最も人口、市町村数が多い二次医療圏です。

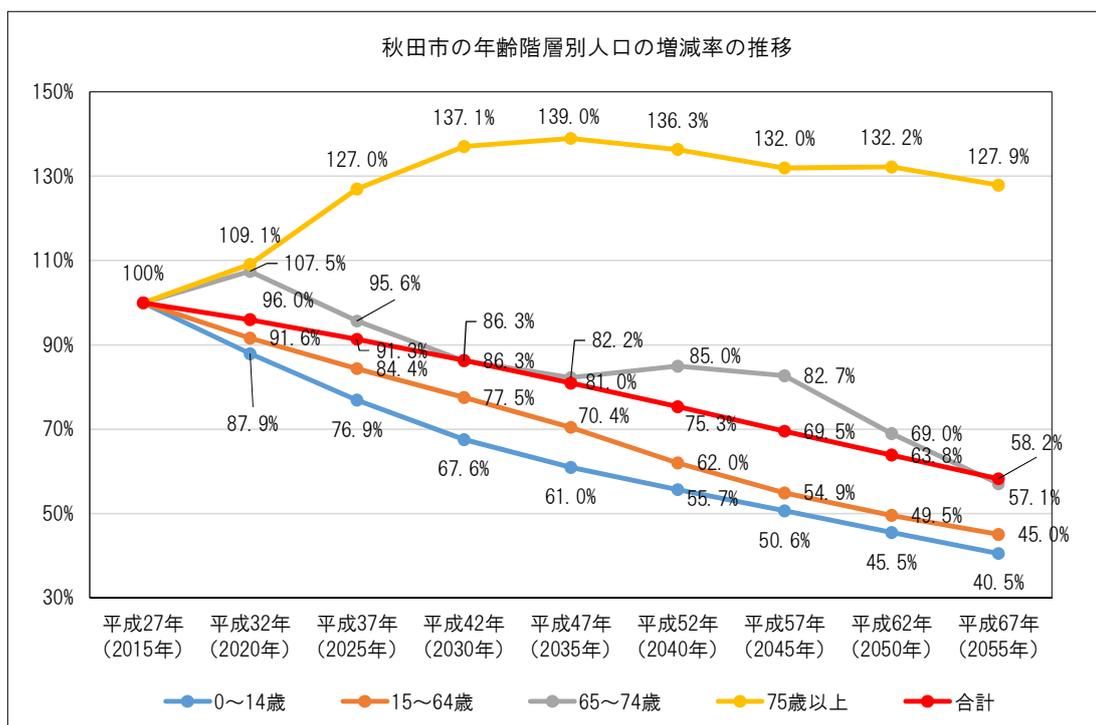
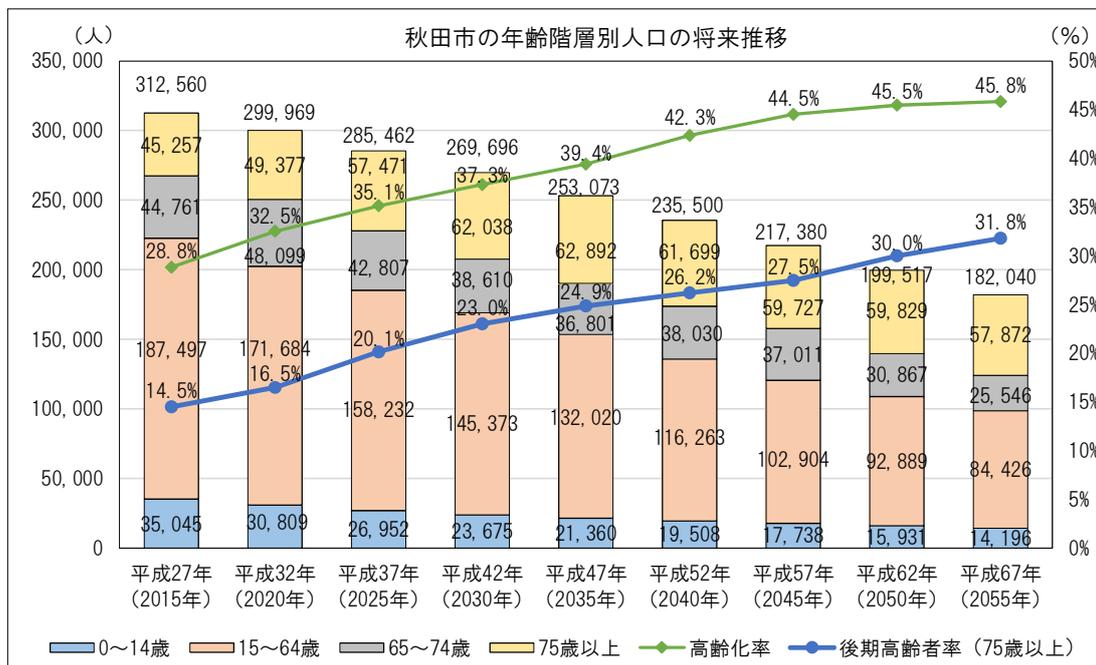
(2) 医療圏および秋田市の人口推移

秋田周辺医療圏の人口は、年々減少し、平成67年には平成27年の55.5%になることが予測されます。一方で高齢化は進み、平成67年には46.2%まで上昇することが予測されます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

また、秋田市の将来推計人口では、平成67年には平成27年の58.2%まで減少する一方で、高齢化率は45.8%まで上昇することが予測されます。特に75歳以上人口は、平成62年には30%を超えることが予測されます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

※平成57年以降の人口について、国立社会保障・人口問題研究所が行う推計方法と同様の方法を用いて算定した。

ただし、生残率、移動率は2035年→2040年の値で算定し、子ども女性比、0~4歳性比は2040年の値を用い、以下の式で算定した。

5~9歳以上：前期の人口×生残率+前期の人口×移動率

0~4歳 男：女性の15~49歳の人口×子ども女性比×0~4歳性比÷(100+性比)

0~4歳 女：女性の15~49歳の人口×子ども女性比×100÷(100+性比)

(3) 病床利用率と平均在院日数

秋田周辺医療圏の平成26年の一般病床の利用率（76.7%）は、秋田県全域（75.1%）、全国（74.8%）と比べ高くなっています。また、平均在院日数（16.9日）は、秋田県全域（18.8日）と比べ短くなっているものの、全国（16.8日）と比べるとやや長くなっています。

二次医療圏の病床利用率および平均在院日数

二次保健医療圏	病床利用率（%）			平均在院日数（日）		
		一般病床	療養病床		一般病床	療養病床
大館・鹿角	77.0	64.1	97.4	36.3	17.5	188.0
北秋田	59.8	63.7	50.7	39.7	22.0	36.6
能代・山本	81.6	77.5	89.9	33.2	19.1	245.6
秋田周辺	83.8	76.7	96.0	31.3	16.9	243.2
由利本荘・にかほ	80.8	77.8	96.4	37.9	28.2	209.5
大仙・仙北	86.3	84.2	92.0	33.1	19.5	100.8
横手	81.5	77.1	98.9	25.7	17.0	296.0
湯沢・雄勝	69.4	59.7	85.0	33.7	18.2	116.7
秋田県全域	81.0	75.1	93.4	32.5	18.8	182.9
全国	80.3	74.8	89.4	29.9	16.8	164.6

出典：厚生労働省「平成26年病院報告」

(4) 医療従事者の状況

秋田周辺医療圏の平成26年の人口10万人対医師数（234.9人）は、秋田県全域（163.6人）、全国（165.3人）と比べ多い状況です。

人口10万人対薬剤師数（40.2人）は、秋田県全域（32.1人）、全国（36.7人）と比べ多い状況です。

人口10万人対看護師数（843.7人）は、秋田県全域（718.0人）、全国（604.1人）と比べ多い状況です。

二次医療圏別医療従事者数

単位：人

二次医療圏	大館・鹿角	北秋田	能代・山本	秋田周辺	由利本荘・にかほ	大仙・仙北	横手	湯沢・雄勝	秋田県全域	全国
医師	132.5	21.4	98.5	945.9	155	130.2	152.5	59.8	1,695.8	210,112.4
対人口10万人	117.2	59.2	87.5	234.9	145.2	98.6	163.8	90.7	163.6	165.3
薬剤師	35.8	7	27.5	161.7	34.3	32.2	22.5	12	333.0	46,663.4
対人口10万人	31.7	19.4	24.4	40.2	32.1	24.4	24.2	18.2	32.1	36.7
看護師	727.5	132.1	533	3,397.9	811.2	794.6	753.4	295.3	7,444.6	767,700.8
対人口10万人	643.3	365.2	473.3	843.7	760.1	601.5	809.1	447.8	718.0	604.1

出典：厚生労働省「平成26年病院報告」

(5) 病院の配置状況

ア 病院の概要

秋田周辺医療圏には、本院を含め27病院が設置されており、そのうち、秋田市内には23病院が設置されています。本院は、DPC対象病院のⅢ群、救急告示病院、臨床研修指定病院として認定されています。

秋田周辺医療圏における病院概要

単位：床

市町	病院名称	病床数					DPC 対象 病院	救急 告示 病院	臨床 研修 指定 病院	地域 包括 ケア 病棟 入院料	回復期 リハビ リテー ション 病棟 入院料	
		一般	療 養	精 神	感 染 症	結 核						
秋田市	市立秋田総合病院	456	374		60		22	Ⅲ群	●	●	●	
	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	479	477			2		Ⅲ群	●	●	●	
	秋田赤十字病院	496	496					Ⅲ群	●	●		
	秋田大学医学部附属病院	613	577		36			I群	●	●		
	地方独立行政法人秋田県立病院機構 秋田県立脳血管研究センター	184	184						●		●	●
	医療法人正和会 五十嵐記念病院	60	60									
	今村病院	223			223							
	医療法人 飯川病院	40		40								
	医療法人運忠会 土崎病院	110	68	42							●	
	医療法人回生会 秋田回生会病院	402			402							
	医療法人久盛会 秋田緑ヶ丘病院	388			388							
	医療法人正観会 御野場病院	152	30	122								●
	医療法人祐愛会 加藤病院	160			160							
	医療法人小泉病院 小泉病院	70	27	43							●	
	社会医療法人明和会 中通総合病院	450	450					Ⅲ群	●	●		
	医療法人白雄会 白根病院	53	53									
	医療法人清風会 清和病院	133			133							
	医療法人惇慧会 外旭川病院	241	34	207								
	医療法人梅栄会 細谷病院	107		107								
	社会医療法人明和会 中通リハビリテーション病院	220	220									●
	医療法人三愛会 秋田東病院	140			140							
	医療法人祐愛会 加藤病院	160			160							
	秋田県立医療療育センター	100	100									
八郎潟町	湖東厚生病院	100	100								●	
男鹿市	男鹿みなと市民病院	177	177						●		●	
潟上市	医療法人仁政会 杉山病院	280		144	136							
	医療法人敬徳会 藤原記念病院	140	140					Ⅲ群	●			
合計		6134	3,567	705	1,838	2	22					

出典1：東北厚生局「届出受理医療機関名簿」（平成28年7月）

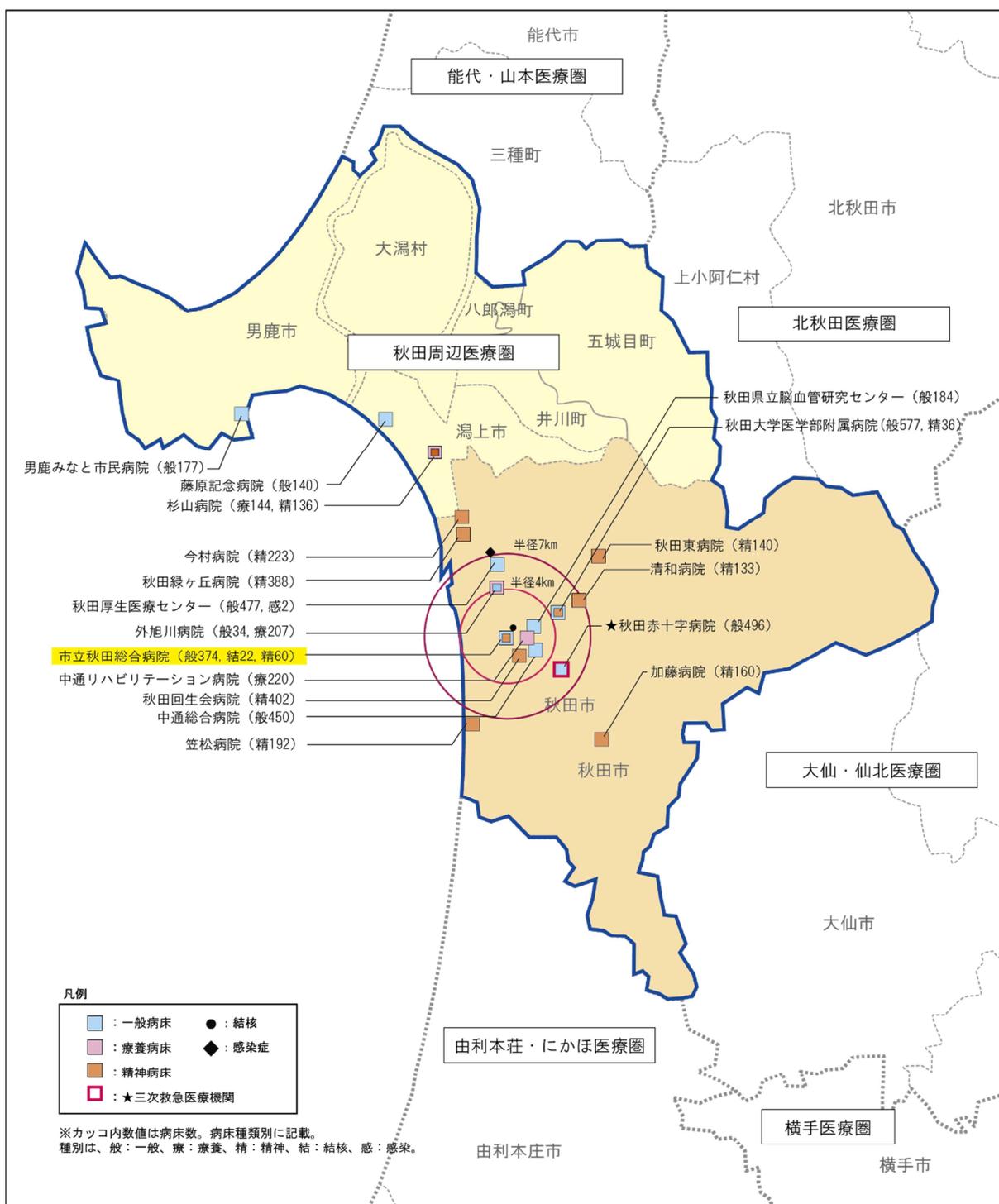
出典2：あきた医療情報ガイド

出典3：DPC評価分科会「機能評価係数Ⅱの内訳」（平成28年現在）

イ 配置状況

秋田周辺医療圏の医療機関の配置は下図のようになっています。本院を中心とした半径4 km圏内には、秋田県立脳血管研究センター、中通総合病院、外旭川病院、秋田回生会病院(精神)、中通リハビリテーション病院(療養)が設置されています。また、半径7 km圏内には秋田大学医学部附属病院、秋田赤十字病院や秋田厚生医療センターなど、比較的近い距離に高機能の医療施設が密集しています。

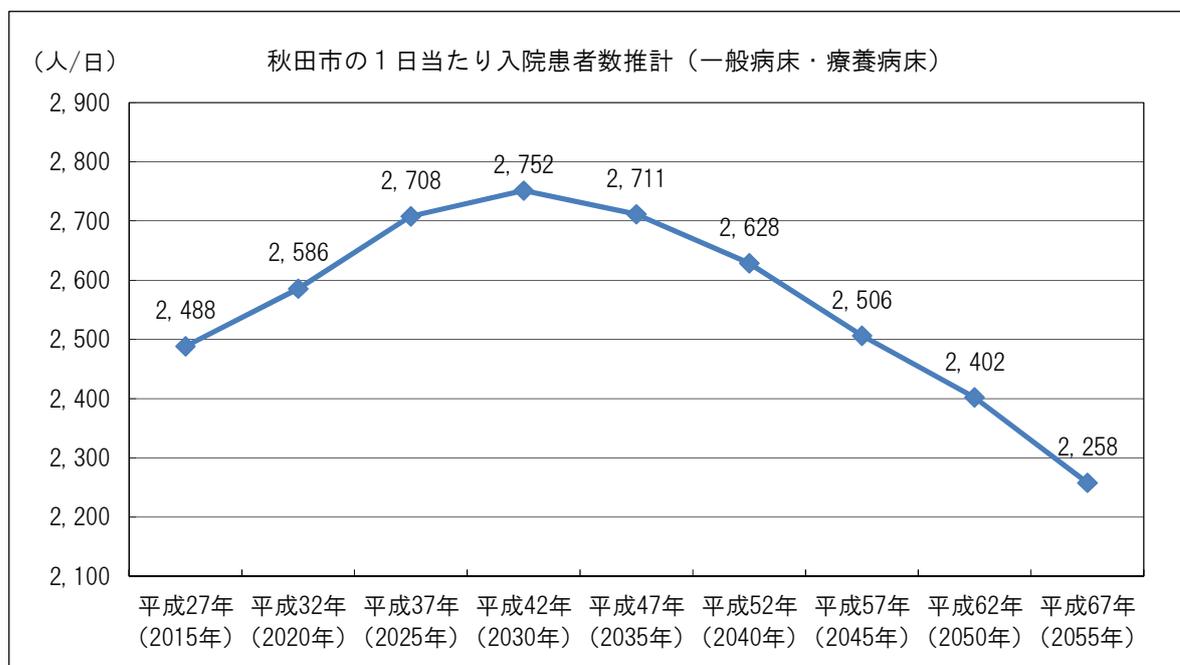
秋田周辺医療圏の病院配置状況



(6) 疾病動向

ア 秋田市における入院患者の将来推計

秋田市の1日当たりの入院患者数は、平成42年には2,752人に達し、その後、減少すると推計されます。平成27年と平成67年を疾病分類別に比較すると、特に「循環器系」、「呼吸器系」などが増加し、「新生物」、「神経系」、「消化器」、「筋骨格系」、「妊娠」、「損傷」などが減少すると推計されます。

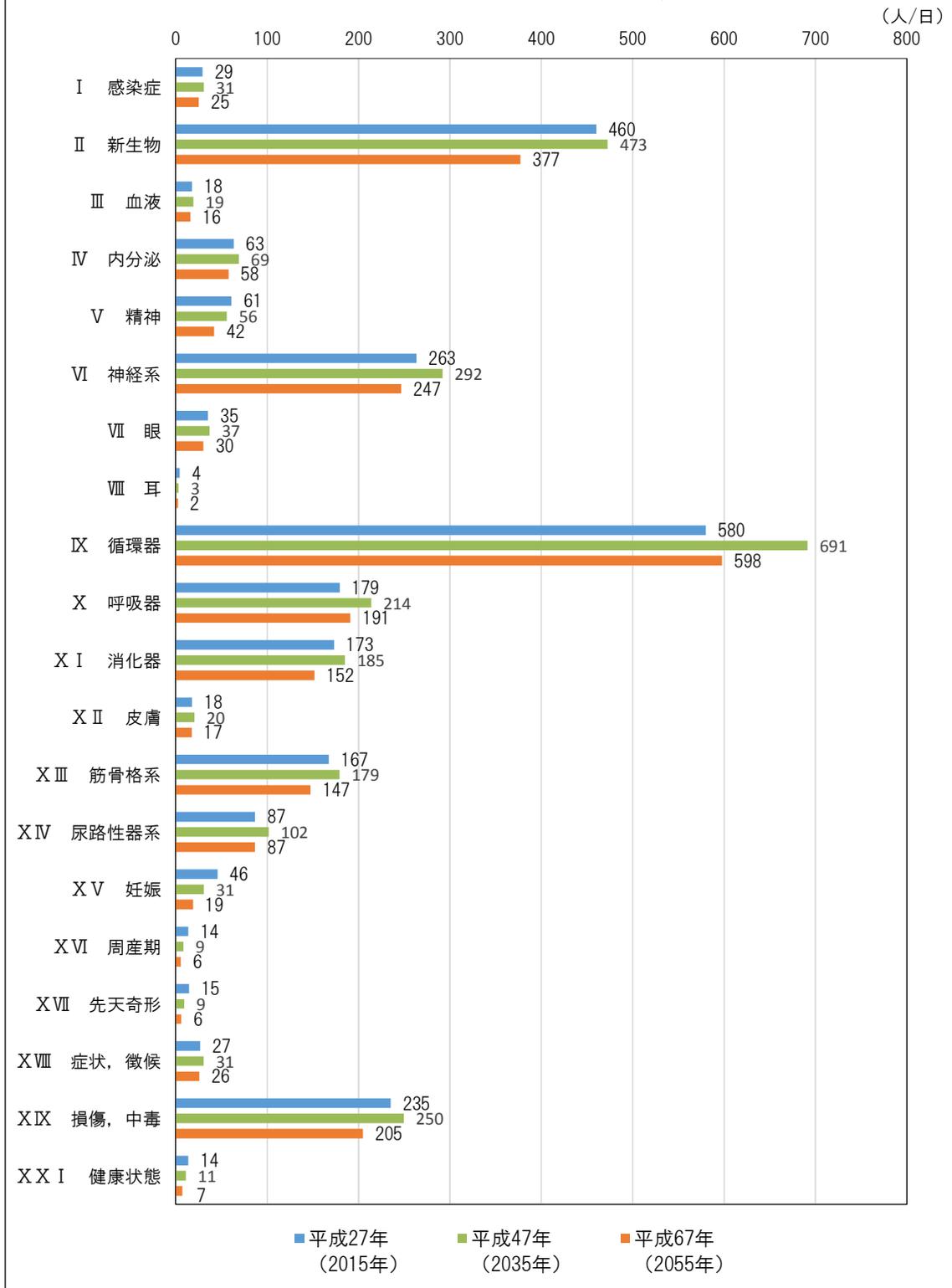


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

厚生労働省 平成26年度患者調査

※秋田市の将来推計人口に、平成26年患者調査の秋田県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の秋田市の1日当たり入院患者数（一般病床、療養病床）を算出した。

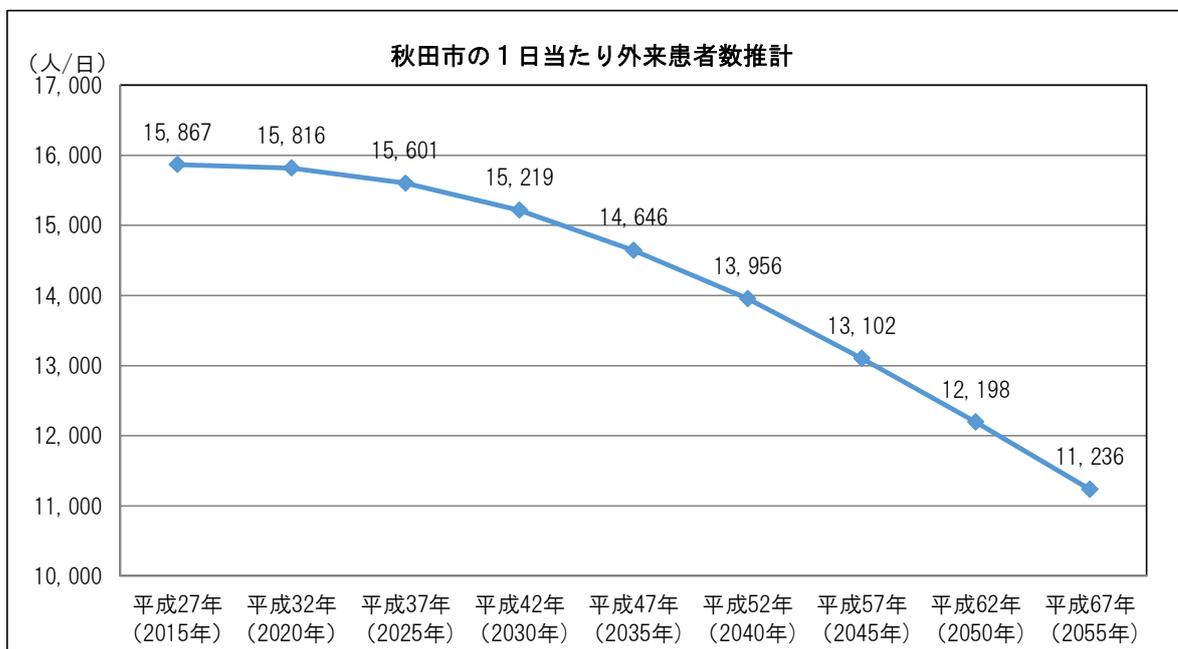
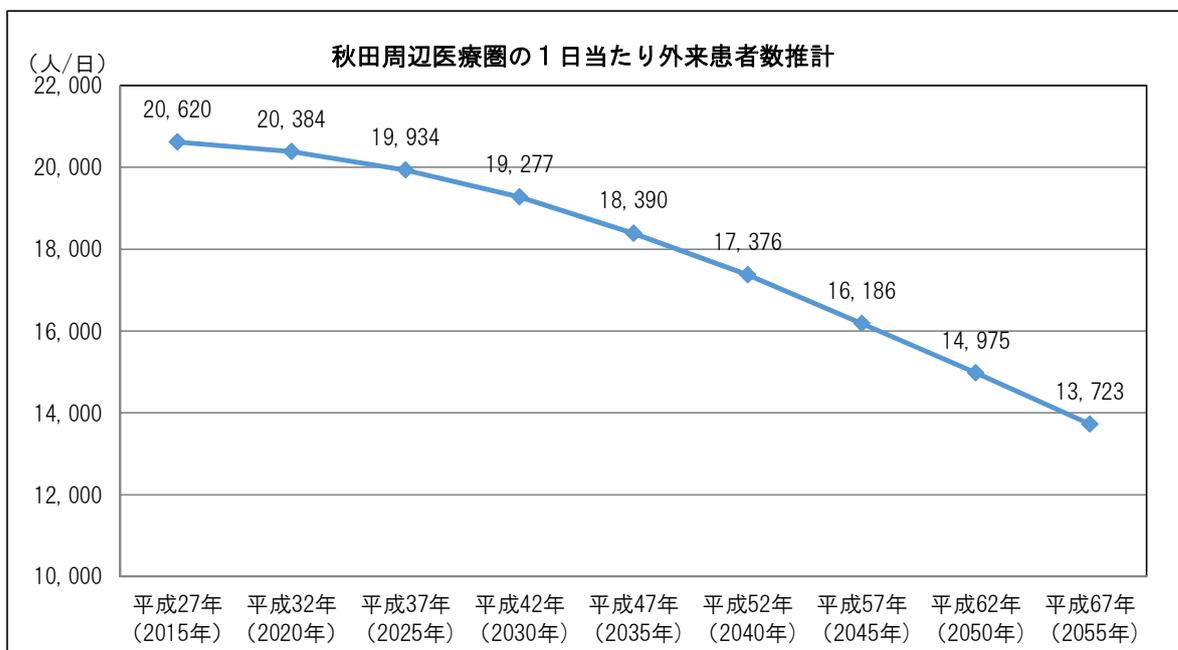
秋田市の傷病分類別入院患者数



イ 秋田周辺医療圏および秋田市における外来患者の将来推計

秋田周辺医療圏の1日当たりの外来患者数は、平成27年の20,620人をピークに減少すると推計されます。平成27年と平成67年を傷病分類別に比べると、特に「循環器系」、「呼吸器系」、「消化器系」が大きく減少しています。

秋田市の1日当たりの外来患者数は、平成27年の15,867人から減少すると推計されます。

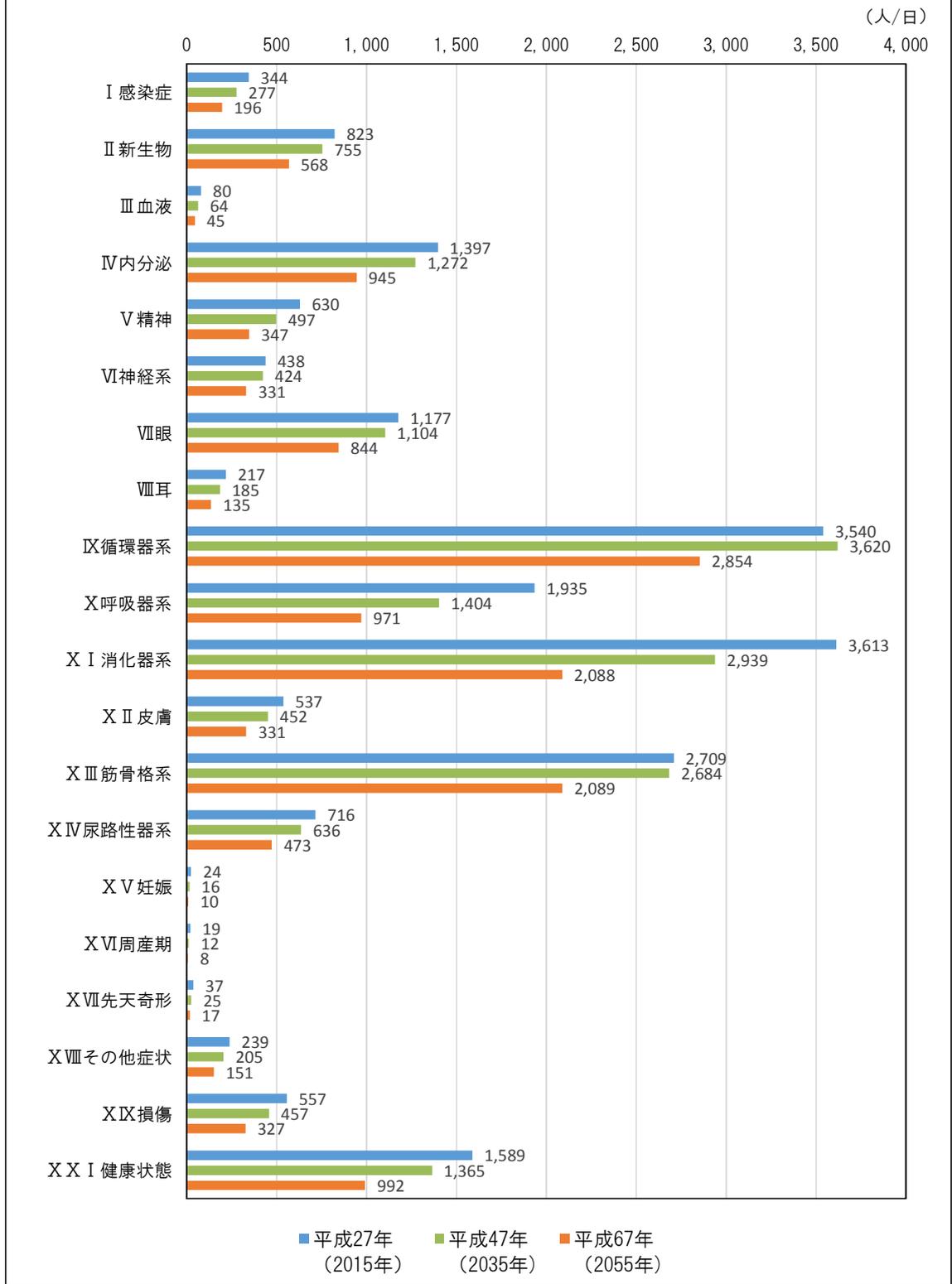


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

厚生労働省 平成26年度患者調査

※秋田周辺医療圏および秋田市の将来推計人口に、平成26年患者調査の秋田県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の秋田市の1日当たり外来患者数を算出。

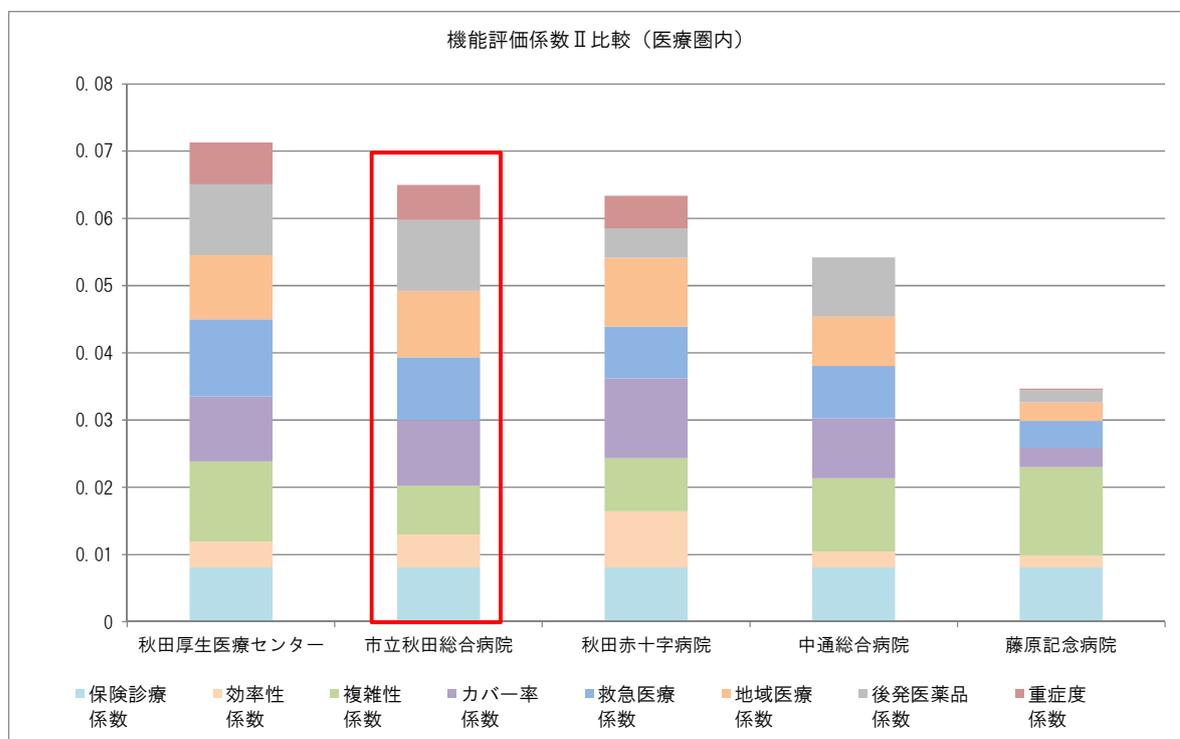
秋田周辺医療圏傷病分類別外来患者数



(7) 医療圏内の病院機能

ア 秋田周辺医療圏のDPC対象5病院（Ⅲ群）の機能評価係数

平成28年度の「機能評価係数Ⅱ※」の合計値について、本院は秋田厚生医療センターに次いで高い値となっており、複雑性係数以外の病院機能に係る係数は医療圏内トップもしくは第二位と高い値となっています。



秋田周辺医療圏のDPC対象病院の機能評価係数比較

	保険診療係数	効率性係数	複雑性係数	カバー率係数	救急医療係数	地域医療係数	後発医薬品係数	重症度係数	機能評価係数Ⅱ合計
秋田厚生医療センター	0.00806	0.00384	0.01196	0.00967	0.01144	0.00955	0.01058	0.00619	0.0713
市立秋田総合病院	0.00806	0.00489	0.00728	0.00974	0.00939	0.00984	0.01058	0.00518	0.0650
秋田赤十字病院	0.00806	0.00840	0.00788	0.01188	0.00765	0.01030	0.00433	0.00483	0.0633
中通総合病院	0.00806	0.00242	0.01083	0.00896	0.00781	0.00729	0.00882	0.00000	0.0542
藤原記念病院	0.00806	0.00178	0.01316	0.00292	0.00399	0.00270	0.00185	0.00020	0.0347

出典：平成28年度 第1回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 参考資料 平成28年度期機能評価係数Ⅱ

※「機能評価係数Ⅱ」：DPC対象病院において、「データを適切に管理している（保険診療係数）」、「在院日数を短縮化している（効率性係数）」、「様々な患者を受け入れている（複雑性係数）」、「様々な疾患に対応できる体制である（カバー率係数）」、「救急医療をしっかり実施している（救急医療係数）」、「地域に適した医療を実施している（地域医療係数）」、「入院医療における後発医薬品を使用している（後発医薬品係数）」ことなどを数値化した加算点。数値の合計値が高いほど、高度な医療機能を有するとみなされる。

イ 診断群分類別患者数およびシェア

秋田周辺医療圏のDPC対象等の7病院における診断群分類別の患者数およびシェアは下表のようになります。

本院の医療圏でのシェアの評価の目安として7病院の病床数割合である14.1%を設定すると、10診断群で目安を超えています。特に「消化器系」、「腎尿路」、「小児」、「呼吸器系」「耳鼻咽喉科系」の患者割合が高くなっています。

診断群分類別患者数およびシェア

単位：人、%

診断群分類	市立秋田総合病院		秋田大学附属病院		中通総合病院		秋田赤十字病院		秋田厚生医療センター		藤原記念病院		脳血管研究センター		合計
一般病床数	376		577		450		486		477		140		169		2,675
病床割合	14.1%		21.6%		16.8%		18.2%		17.8%		5.2%		6.3%		1
MDC01 神経系	176	5.8%	483	15.9%	493	16.2%	474	15.6%	330	10.9%	38	1.3%	1,043	34.3%	3,037
MDC02 眼科系	1	0.1%	850	52.8%	440	27.3%	39	2.4%	280	17.4%	0	0.0%	0	0.0%	1,610
MDC03 耳鼻咽喉科系	449	25.6%	545	31.1%	108	6.2%	365	20.8%	253	14.4%	19	1.1%	13	0.7%	1,752
MDC04 呼吸器系	1,027	20.2%	717	14.1%	951	18.7%	1,315	25.9%	828	16.3%	233	4.6%	4	0.1%	5,075
MDC05 循環器系	504	16.0%	649	20.7%	746	23.8%	509	16.2%	625	19.9%	98	3.1%	10	0.3%	3,141
MDC06 消化器系	1,851	18.8%	1,629	16.6%	1,530	15.6%	2,328	23.7%	2,164	22.0%	329	3.3%	0	0.0%	9,831
MDC07 筋骨格系	297	12.5%	458	19.2%	311	13.1%	426	17.9%	699	29.4%	101	4.2%	88	3.7%	2,380
MDC08 皮膚	99	11.1%	322	36.1%	59	6.6%	268	30.0%	123	13.8%	22	2.5%	0	0.0%	893
MDC09 乳房	110	20.6%	96	17.9%	77	14.4%	174	32.5%	77	14.4%	1	0.2%	0	0.0%	535
MDC10 内分泌	238	13.0%	354	19.4%	303	16.6%	207	11.3%	632	34.6%	79	4.3%	11	0.6%	1,824
MDC11 腎尿路	728	23.8%	715	23.4%	280	9.1%	609	19.9%	587	19.2%	142	4.6%	1	0.0%	3,062
MDC12 女性生殖器	497	13.8%	1,005	28.0%	411	11.4%	1,159	32.3%	518	14.4%	0	0.0%	0	0.0%	3,590
MDC13 血液	197	18.3%	127	11.8%	202	18.7%	172	16.0%	354	32.8%	21	1.9%	5	0.5%	1,078
MDC14 新生児	151	13.9%	257	23.7%	114	10.5%	460	42.5%	100	9.2%	0	0.0%	1	0.1%	1,083
MDC15 小児	170	33.2%	41	8.0%	52	10.2%	150	29.3%	59	11.5%	40	7.8%	0	0.0%	512
MDC16 外傷	307	12.4%	201	8.1%	561	22.6%	669	27.0%	567	22.9%	124	5.0%	50	2.0%	2,479
MDC17 精神	10	14.1%	3	4.2%	29	40.8%	16	22.5%	1	1.4%	11	15.5%	1	1.4%	71
MDC18 その他	126	18.5%	192	28.2%	134	19.6%	120	17.6%	77	11.3%	28	4.1%	5	0.7%	682
合計	6,938	—	8,644	—	6,801	—	9,460	—	8,274	—	1,286	—	1,232	—	42,635

出典：平成27年度第7回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 参考資料1 (12)施設別MDC別比率

2 本院の状況

(1) 病院概要

市立秋田総合病院の概要

所在地	秋田県秋田市川元松丘町4番30号	
病床数	456床 内訳 一般:374床・結核:22床・精神:60床	
診療科目等	診療科目	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液・腎臓内科、糖尿病・代謝内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、総合診療科（院内標榜）／計26科
	特殊診療	人間ドック 小児科救急外来 セカンドオピニオン外来
	受付時間	月曜日～金曜日（祝日、年末年始（12月29日～31日、1月1日～3日）を除く） 8時00分～11時30分
	認定事項	一般病棟：7対1入院基本料 結核病棟：7対1入院基本料 精神病棟：13対1入院基本料
学会認定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本がん治療認定医機構認定研修施設 ・ 日本感染症学会専門医研修施設 ・ 日本集中治療医学会専門医研修施設 ・ 日本静脈経腸栄養学会認定N S T稼動施設 ・ 日本栄養療法推進協議会N S T稼動施設 ・ 日本循環器学会循環器専門医研修施設 ・ 日本高血圧学会専門医認定施設 ・ 日本心血管インターベンション治療学会 専門医認定医制度研修関連施設 ・ 日本消化器病学会認定施設 ・ 日本超音波医学会専門医制度研修施設 ・ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 ・ 日本肝臓学会専門医制度関連施設 ・ 日本糖尿病学会認定教育施設 ・ 日本呼吸器学会専門医制度認定施設 ・ 日本血液学会認定血液研修施設 ・ 日本内科学会認定医制度教育関連病院 ・ 日本精神神経学会専門医研修施設 ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設 ・ 日本皮膚科学会専門医研修施設 ・ 日本外科学会専門医制度修練施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本消化器外科学会専門医制度修練施設 ・ 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設 ・ 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設 ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設 ・ 日本泌尿器科学会専門医教育施設 ・ 日本透析医学会専門医制度認定施設 ・ 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 [施設区分A] ・ 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 ・ 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門 医補完研修施設 ・ 日本耳鼻咽喉科学会専門医制度研修施設 ・ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 ・ 日本ペインクリニック学会専門医研修施設 ・ 日本病理学会病理専門医制度登録施設 ・ 日本臨床細胞学会認定施設 ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ 検診施設画像認定施設 ・ 日本臨床衛生検査技師会精度保証施設認証制度 認証施設 ・ 日本輸血・細胞治療学会I&A認証施設
各種指定・認定等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急告示医療機関 ・ 基幹型臨床研修指定病院 ・ 協力型臨床研修指定病院 ・ 外国医師臨床修練指定病院 ・ 秋田県肝疾患診療連携拠点病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県がん診療連携推進病院 ・ 病院機能評価認定病院 ・ 一般病棟入院基本料7:1 ・ 特定集中治療室管理料 ・ 入院時食事療養（I）

出典：市立秋田総合病院 病院ホームページ「病院概要」

(2) 敷地概要

現病院敷地の概要は次のとおりです。

・所在地	秋田県秋田市川元松丘町4-30
・用途地域	第一種住居地域
・建ぺい率	60%
・容積率	200%
・道路高さ制限	1.25×L1（適用距離20m）
・隣地高さ制限	1.25×L2+20m
・日影規制	5時間・3時間
・その他区域・地区等の指定	準防火地域

L1：前面道路の反対側の境界線までの水平距離

L2：隣地境界線までの水平距離

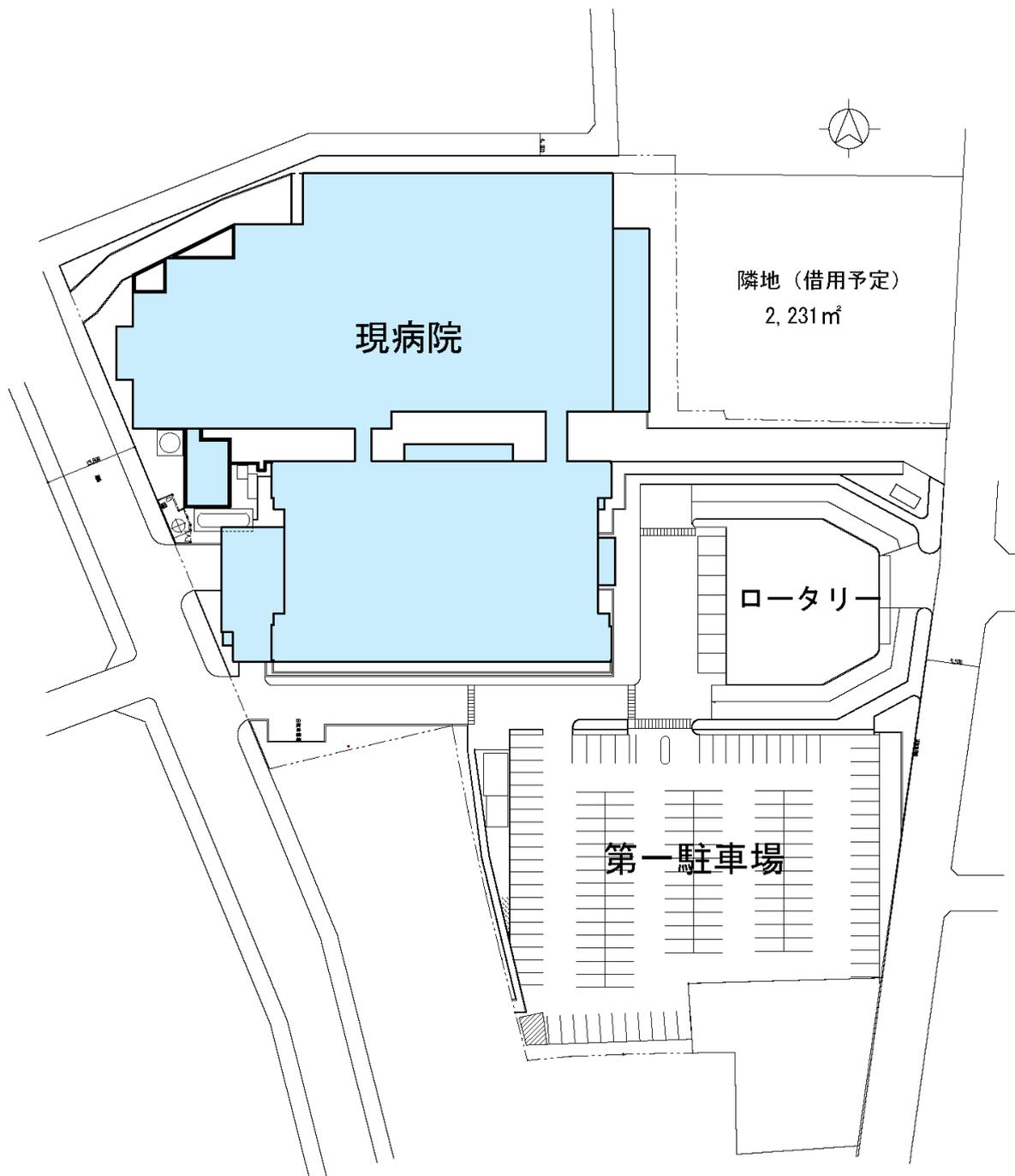
(3) 既存建物概要

現病院建物の概要は次のとおりです。

病院	敷地面積	15,433㎡
	建築面積	6,164㎡
	延べ床面積	28,707㎡
	診療棟	11,034㎡
	病棟	17,568㎡
	構造	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上8階
駐車場	計	262台
	第1駐車場	138台＋身障者用7台
	第2駐車場	78台
	第3駐車場	39台

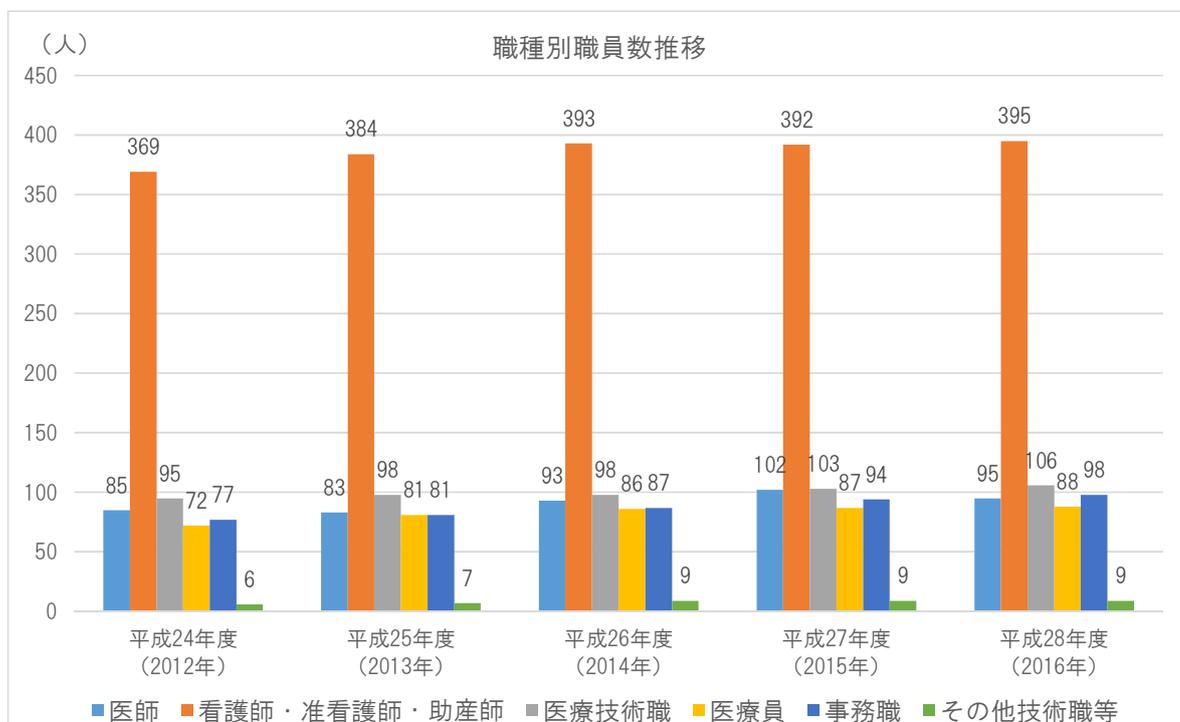
(4) 現病院配置図

現病院の建物配置は次のとおりです。



(5) 職員数の動向

本院の職員数は平成24年度以降増加傾向にあります。増加の主たる要因は医師および看護師数の増加によるものです。医師数は増減がみられますが、平成24年度と比較すると10人増加し、看護師は25人増加しています。



職種別職員数推移

単位：人

区分		平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)	平成28年度 (2016年)
医師	医師・歯科医師	85	83	93	102	95
	(研修医)*内書き	(12)	(14)	(18)	(30)	(28)
看護師	看護師	340	355	360	361	365
	准看護師	17	18	17	13	12
	助産師	12	11	16	18	18
医師・看護師 計		454	467	486	494	490
医療技術職	薬剤師	16	16	18	17	20
	診療放射線技師	15	14	14	15	15
	臨床検査技師	34	34	33	33	31
	理学療法士	9	10	11	11	12
	作業療法士	1	1	1	1	1
	言語聴覚士	1	1	1	1	1
	臨床工学技士	2	3	3	6	7
	視能訓練士	2	3	2	2	2
	歯科衛生士	2	2	2	2	2
	臨床心理士	2	4	2	5	5
	その他技師 ※1	3	3	4	3	3
	栄養士	8	7	7	7	7
医療技術職 計		95	98	98	103	106
事務職		77	81	87	94	98
医療員 ※2		72	81	86	87	88
その他技術職等	保育士	4	3	4	3	3
	社会福祉士	1	3	3	4	4
	その他技師 ※3	1	1	2	2	2
その他職員 計		6	7	9	9	9
合計		704	734	766	787	791

出典：市立秋田総合病院調べ

※1：歯科技工士、細胞検査士 ※2：看護補助者、助手、薬剤クラーク ※3：地域医療連携室技師、精神保健福祉士

診療科別の医師数は、診療科により増減がみられますが、全体数は、増減を繰り返しながら増加傾向にあります。また、地方独立行政法人化した平成26年度からは、医師数は増加し、特に研修医数は倍増しています。

診療科別医師数推移

単位：人

科名	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)	平成28年度 (2016年)
総合診療科			1	2 (1)	1
呼吸器内科	3	3	4 (1)	3	3
循環器内科	4	4	4	4	5
消化器内科	11	8	10 (2)	10 (2)	9 (2)
糖尿病・代謝内科		2	3 (1)	3 (1)	3 (1)
血液・腎臓内科	4	3	2	3 (1)	3
神経内科	1	1		1	2 (1)
小児科	5	6	6	7	5
皮膚科	2	2	2	2	2 (1)
放射線科	1	1	1	1	1
外科	9	8	8 (1)	9 (1)	9 (2)
心臓血管外科	1	1	1	1	1
整形外科	3	3	3 (1)	3 (1)	3
乳腺・内分泌外科	2	2	2 (1)	2	1
脳神経外科	1	1	1	2	1
泌尿器科	5	5	5	6 (1)	6 (1)
産婦人科	5	4	5 (1)	5 (1)	5 (1)
眼科				1	1
耳鼻咽喉科	2	2	2	2	2
麻酔科	4	4	3 (1)	3 (1)	4 (2)
歯科口腔外科	1	1	1	1	1
精神科	5	5	5	6 (1)	5 (1)
手術室	1	1	1		
病理診断科	1		1	1	1
救急科	1	1	2	3	3
リハビリテーション科	1	1	1	1	1
臨床検査科			1	1	1
その他	12 (12)	14 (14)	18 (18)	19 (19)	16 (16)
合計	85 (12)	83 (14)	93 (27)	102 (30)	95 (28)

※医師数（）内の数字は研修医数再掲

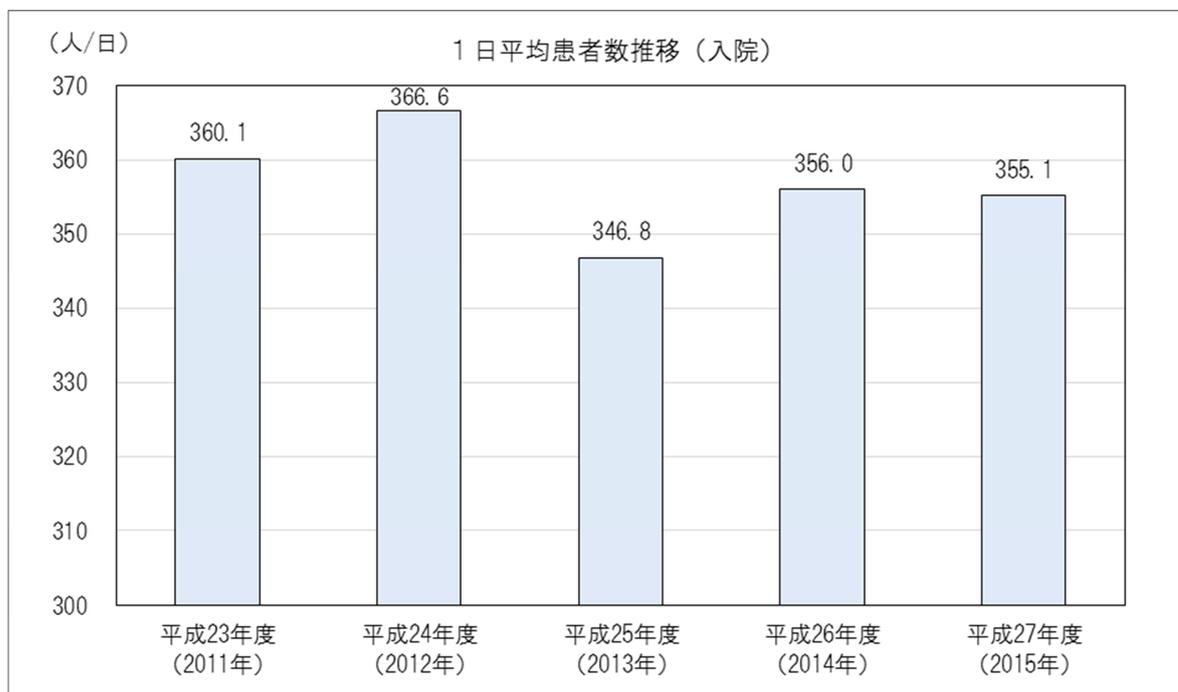
出典：市立秋田総合病院調べ（各年度4月1日現在）

(6) 患者動向

ア 入院患者

(ア) 患者数

1日平均入院患者数について、平成25年度は346.8人まで減少しましたが、以降は増加傾向を示し、平成27年度は355.1人となっています。



診療科別患者数推移（入院）

単位：人

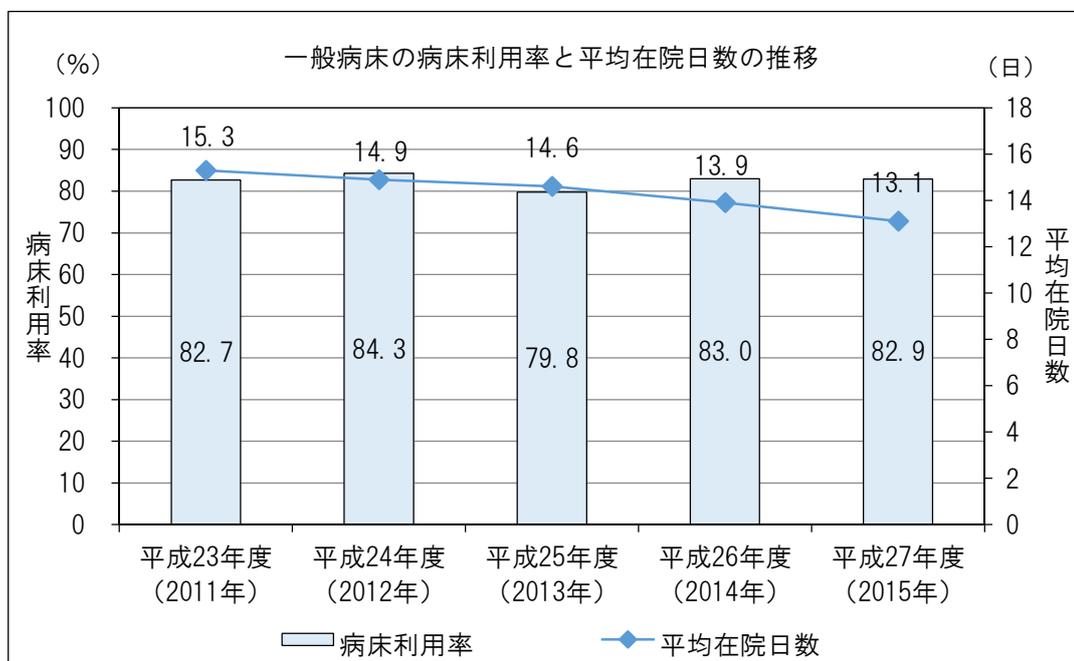
区分	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)	
	患者数	1日 平均								
循環器内科	11,451	31.3	11,234	30.8	10,699	29.3	10,412	28.5	10,083	27.5
消化器内科	18,460	50.4	19,369	53.1	16,385	44.9	16,816	46.1	18,159	49.6
呼吸器内科	15,710	42.9	16,519	45.3	14,996	41.1	14,997	41.1	13,057	35.7
血液・腎臓内科	7,849	21.4	9,566	26.2	10,551	28.9	9,329	25.6	8,276	22.6
神経内科	1,659	4.5	1,182	3.2	1,121	3.1	1,207	3.3	4,839	13.2
精神科	14,726	40.2	14,717	40.3	14,166	38.8	13,601	37.3	13,290	36.3
小児科	4,963	13.6	5,406	14.8	5,459	15.0	6,096	16.7	6,076	16.6
外科	12,444	34.0	12,560	34.4	11,192	30.7	12,345	33.8	11,559	31.6
整形外科	14,249	38.9	13,041	35.7	11,755	32.2	12,553	34.4	13,691	37.4
皮膚科	1,341	3.7	911	2.5	882	2.4	1,174	3.2	1,062	2.9
泌尿器科	11,849	32.4	11,608	31.8	10,124	27.7	10,065	27.6	9,783	26.7
産婦人科	6,501	17.8	6,837	18.7	6,644	18.2	6,889	18.9	6,959	19.0
眼科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	768	2.1
耳鼻咽喉科	5,694	15.6	5,480	15.0	4,596	12.6	4,363	12.0	4,320	11.8
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
麻酔科	14	0.0	48	0.1	40	0.1	43	0.1	0	0.0
リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
脳神経外科	2,557	7.0	2,465	6.8	2,478	6.8	3,727	10.2	2,397	6.5
心臓血管外科	1,587	4.3	1,402	3.8	1,092	3.0	996	2.7	1,187	3.2
乳腺・内分泌外科	752	2.1	1,439	3.9	1,901	5.2	1,957	5.4	1,617	4.4
糖尿病・代謝内科	0	0.0	0	0.0	2,503	6.9	3,361	9.2	2,614	7.1
歯科口腔外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
救急科	4	0.0	8	0.0	3	0.0	13	0.0	212	0.6
合計	131,810	360.1	133,792	366.6	126,587	346.8	129,944	356.0	129,949	355.1

出典：市立秋田総合病院調べ

(イ) 病床利用率および平均在院日数の推移

本院の一般病床の平均在院日数は、平成23年度以降、徐々に短縮化が進み、平成27年度には13.1日（全国平均16.8日）となっています。

病床利用率は、平成25年度に80%を下回りましたが、平成26年度以降は83%前後で推移しています。



病床利用率の推移

単位：%

年度	平成23年度 (2011年)	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)
一般	82.7	84.3	79.8	83.0	82.9
結核	41.5	41.7	37.1	31.0	33.5
精神	66.8	67.1	64.6	61.8	60.4
全体	78.6	80.0	75.7	77.7	77.5

平均在院日数の推移

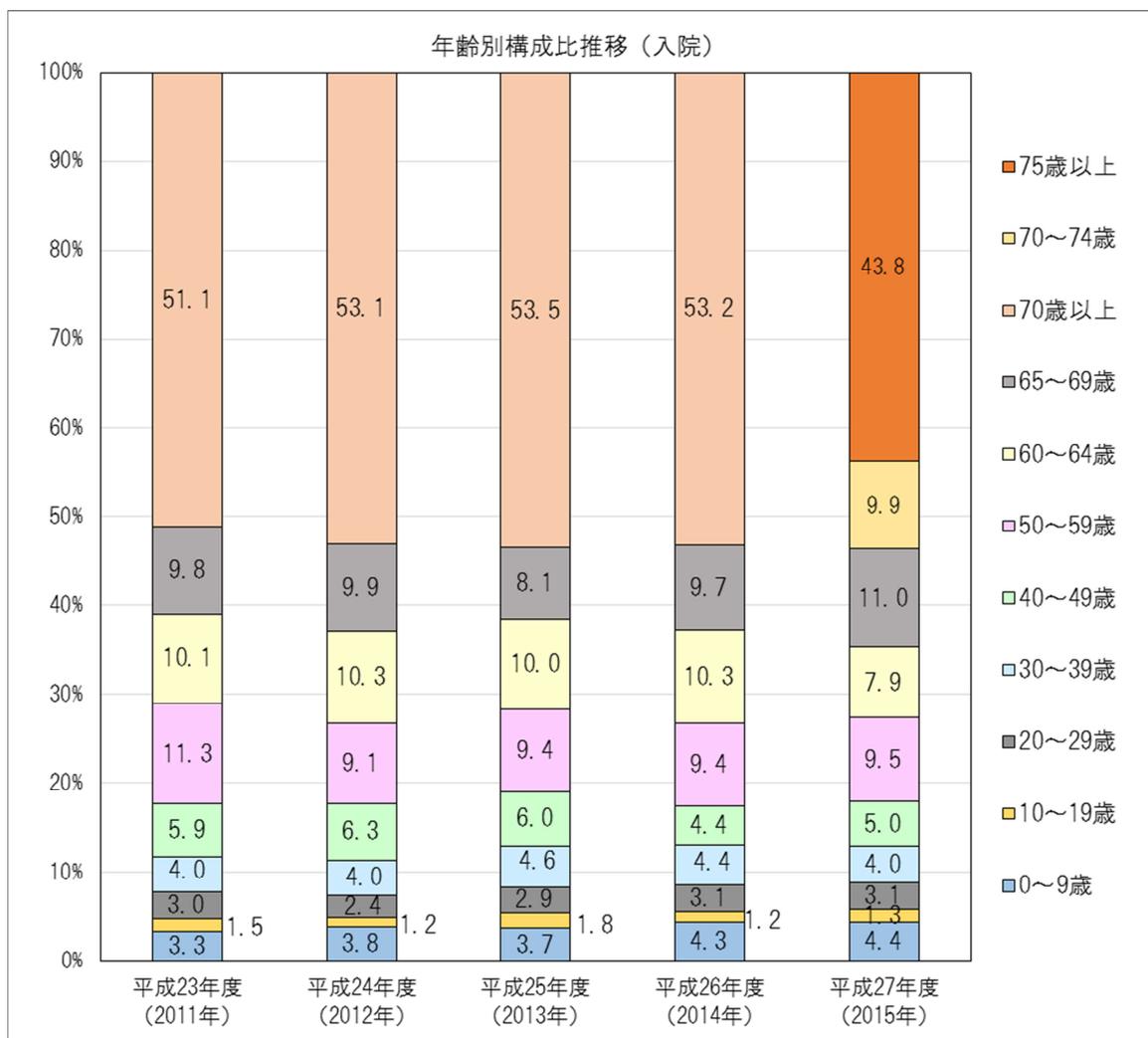
単位：日

年度	平成23年度 (2011年)	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)
一般	15.3	14.9	14.6	13.9	13.1
結核	100.3	127.5	125.7	98.4	113.6
精神	63.8	55.8	51.6	45.4	49.8
全体	17.2	16.7	16.3	15.3	14.5

出典：市立秋田総合病院調べ

(ウ) 年齢別入院患者数

平成27年度の入院患者数の年齢別構成をみると、75歳以上の患者が占める割合が約44%となっています。



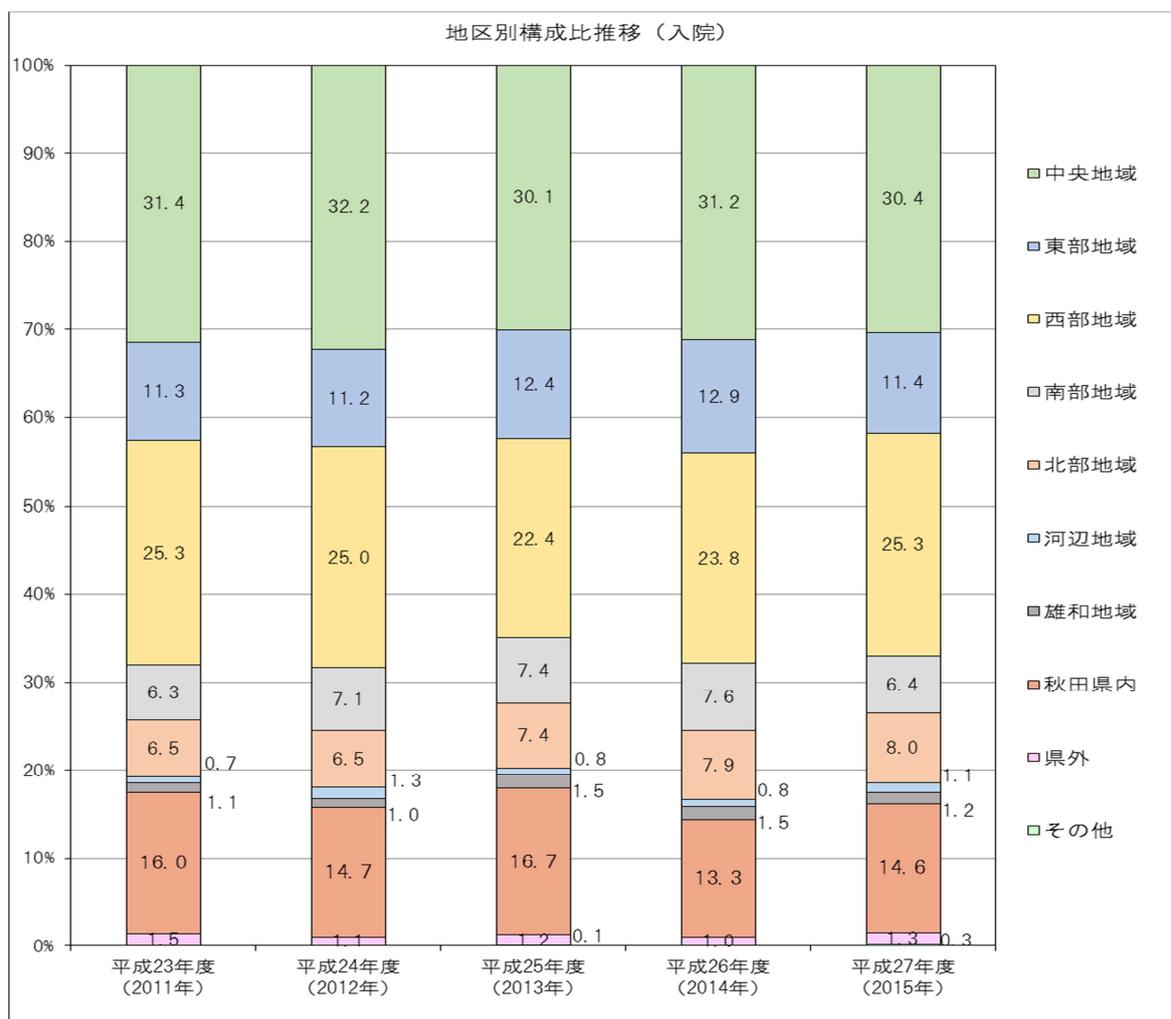
単位：人、%

年齢階級	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)	
	1日平均	構成比								
0~9歳	11.8	3.3	13.9	3.8	12.8	3.7	15.2	4.3	15.7	4.4
10~19歳	5.5	1.5	4.3	1.2	6.2	1.8	4.2	1.2	4.8	1.3
20~29歳	10.8	3.0	8.8	2.4	9.9	2.9	10.9	3.1	10.8	3.1
30~39歳	14.3	4.0	14.8	4.0	16.1	4.6	15.8	4.4	14.4	4.0
40~49歳	21.1	5.9	23.2	6.3	20.7	6.0	15.8	4.4	17.9	5.0
50~59歳	40.9	11.3	33.3	9.1	32.7	9.4	33.5	9.4	33.7	9.5
60~64歳	36.4	10.1	37.7	10.3	34.8	10.0	36.8	10.3	28.1	7.9
65~69歳	35.4	9.8	36.3	9.9	28.0	8.1	34.6	9.7	39.1	11.0
70歳以上	183.9	51.1	194.5	53.1	185.6	53.5	189.2	53.2		
70~74歳									35.1	9.9
75歳以上									155.5	43.8
合計	360.1	100	366.6	100	346.8	100	356.0	100	355.1	100

出典：市立秋田総合病院調べ

(エ) 地区別入院患者数

本院の入院患者は、8割強が秋田市内からの来院となっており、そのうち中央および西部地域の患者が全体でも過半を占めています。また、秋田周辺医療圏を含む秋田県内からの入院は15%程度で推移しています。



単位：人、%

区分	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)		
	1日平均	構成比									
秋田市内	中央地域	113.2	31.4	117.8	32.1	104.0	30.0	106.1	29.8	107.9	30.4
	東部地域	40.7	11.3	40.9	11.1	43.0	12.4	43.9	12.3	40.4	11.4
	西部地域	91.2	25.3	91.2	24.9	77.6	22.4	80.9	22.7	90.0	25.3
	南部地域	22.6	6.3	26.1	7.1	25.6	7.4	25.9	7.3	22.7	6.4
	北部地域	23.3	6.5	23.7	6.5	25.5	7.4	26.9	7.6	28.5	8.0
	河辺地域	2.5	0.7	4.7	1.3	2.6	0.8	2.7	0.8	3.8	1.1
	雄和地域	3.9	1.1	3.5	1.0	5.3	1.5	5.2	1.5	4.4	1.2
小計	297.4	82.6	307.8	83.9	283.7	81.8	291.6	81.9	297.6	83.8	
秋田県内	57.4	16.0	54.9	15.0	58.6	16.9	59.7	16.8	51.8	14.6	
県外	5.2	1.5	3.9	1.1	4.1	1.2	4.6	1.3	4.6	1.3	
その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.1	0.0	1.0	0.3	
合計	360.1	100	366.6	100	346.8	100	356.0	100	355.1	100	

出典：市立秋田総合病院調べ

(オ) 入院経路

平成27年4月1日～平成28年3月31日の間に入院し退院した患者のうち入院経路の判明した患者について分析すると、紹介履歴のある入院患者が3,992人と最も多く、自院外来からの入院患者は3,242人、救急車搬送による入院患者は995人となっています。

入院経路別患者数 単位：人

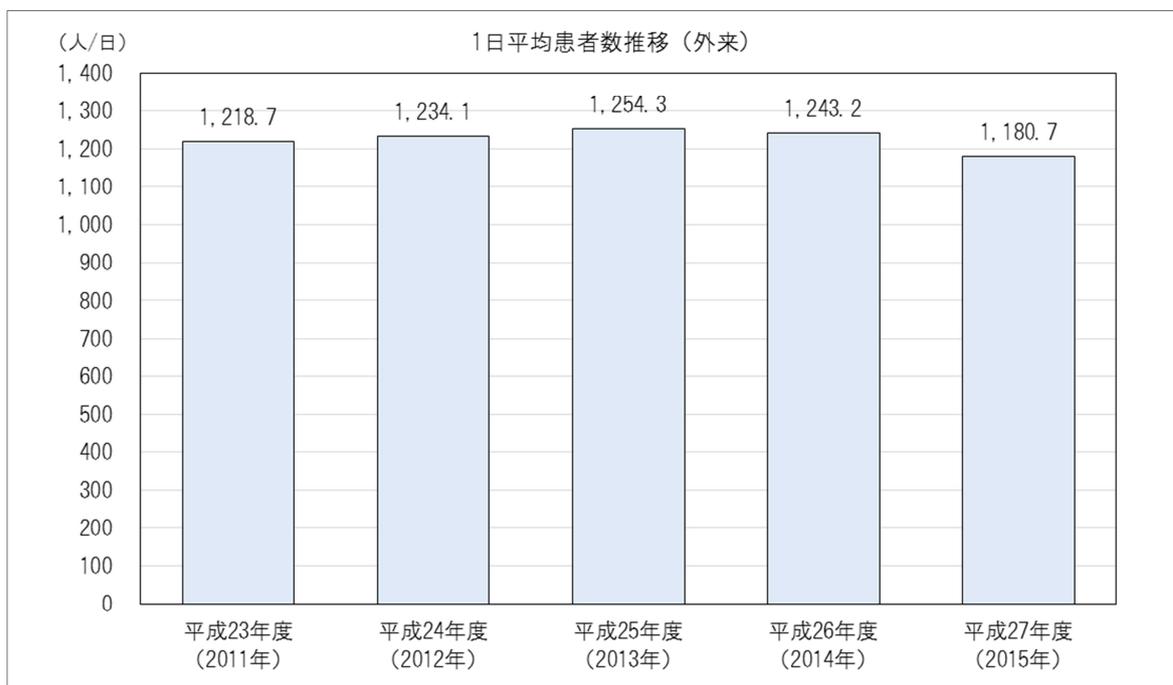
入院経路	患者数	割合
救急車搬送による入院患者	995	12.1%
自院外来からの入院患者	3,242	39.4%
紹介履歴のある入院患者	3,992	48.5%
合計	8,229	100.0%

出典：平成27年度DPC調査様式1

イ 外来患者

(ア) 患者数

平成23年度以降の1日平均外来患者数は、1,180人から1,250人前後で増減しています。



診療科別患者数推移（外来）

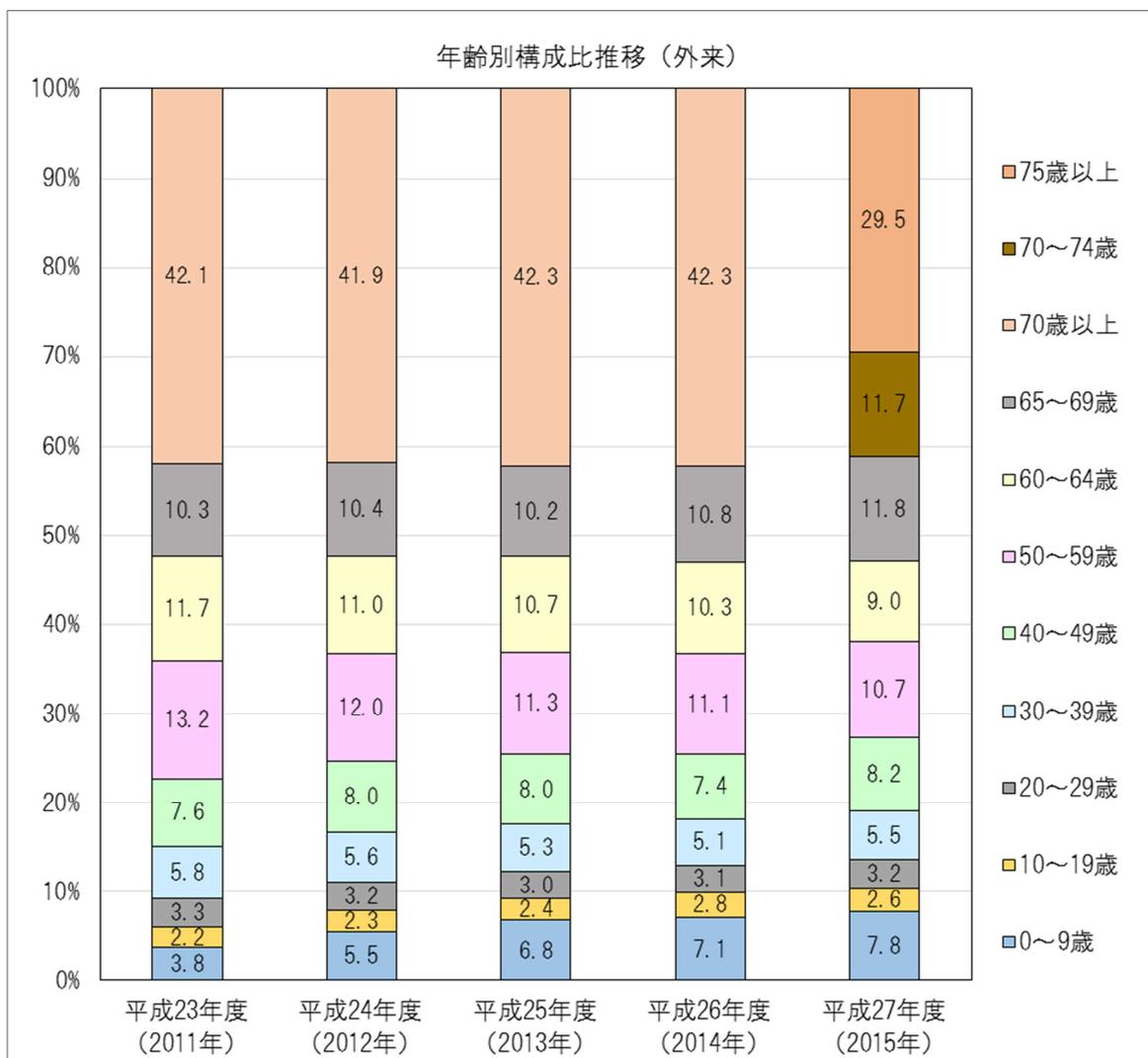
単位：人、%

区分	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)	
	患者数	1日平均								
循環器内科	28,911	118.5	25,267	103.1	23,517	96.4	22,467	92.1	20,260	83.4
消化器内科	44,420	182.0	43,963	179.4	28,403	116.4	27,825	114.0	25,681	105.7
呼吸器内科	19,114	78.3	19,327	78.9	18,751	76.8	18,359	75.2	13,702	56.4
血液・腎臓内科	11,530	47.3	11,406	46.6	11,221	46.0	11,712	48.0	11,535	47.5
神経内科	6,160	25.2	5,535	22.6	5,151	21.1	4,835	19.8	6,167	25.4
精神科	23,093	94.6	22,290	91.0	21,464	88.0	21,042	86.2	19,180	78.9
小児科	10,627	43.6	16,022	65.4	19,974	81.9	19,597	80.3	19,179	78.9
外科	11,903	48.8	10,186	41.6	9,161	37.5	8,087	33.1	8,246	33.9
整形外科	16,726	68.5	17,455	71.2	17,181	70.4	15,763	64.6	15,082	62.1
皮膚科	16,426	67.3	16,577	67.7	16,771	68.7	16,190	66.4	14,978	61.6
泌尿器科	26,338	107.9	26,927	109.9	27,026	110.8	27,385	112.2	25,475	104.8
産婦人科	10,041	41.2	10,258	41.9	9,682	39.7	9,696	39.7	9,808	40.4
眼科	5,960	24.4	6,028	24.6	5,313	21.8	5,476	22.4	7,484	30.8
耳鼻咽喉科	12,356	50.6	13,240	54.0	12,794	52.4	12,835	52.6	10,383	42.7
放射線科	13,488	55.3	14,354	58.6	12,792	52.4	13,040	53.4	11,694	48.1
麻酔科	2,553	10.5	2,517	10.3	2,375	9.7	2,586	10.6	2,998	12.3
リハビリテーション科	23,343	95.7	24,579	100.3	26,544	108.8	27,156	111.3	29,935	123.2
脳神経外科	3,717	15.2	3,564	14.5	3,937	16.1	3,895	16.0	3,603	14.8
心臓血管外科	1,941	8.0	1,755	7.2	1,707	7.0	1,693	6.9	1,561	6.4
乳腺・内分泌外科	1,514	6.2	3,705	15.1	4,583	18.8	5,714	23.4	5,662	23.3
糖尿病・代謝内科	0	0.0	0	0.0	19,856	81.4	20,245	83.0	16,683	68.7
歯科口腔外科	7,191	29.5	7,359	30.0	7,828	32.1	7,697	31.5	7,122	29.3
救急科	2	0.0	31	0.1	16	0.1	38	0.2	491	2.0
合計	297,354	1,218.7	302,345	1,234.1	306,047	1,254.3	303,333	1,243.2	286,909	1,180.7

出典：市立秋田総合病院調べ

(イ) 年齢別外来患者数

外来患者の年齢別構成をみると、本院の外来患者の過半数は65歳以上の高齢者となっており、外来患者数に占める高齢者の割合は年々増加傾向にあります。



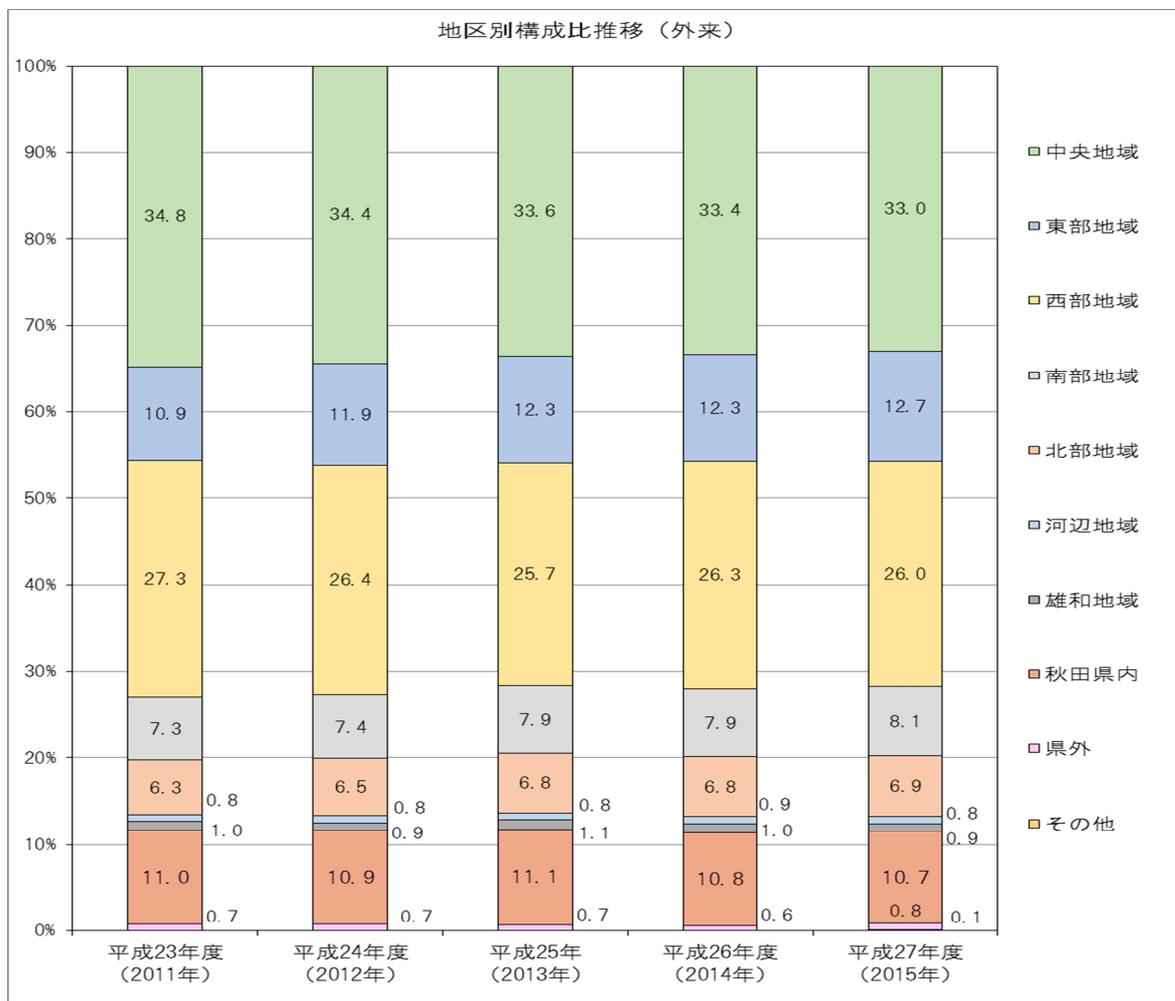
単位：人、%

年齢階級	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)	
	1日平均	構成比								
0～9歳	46.1	3.8	68.2	5.5	85.6	6.8	87.9	7.1	92.3	7.8
10～19歳	26.7	2.2	28.5	2.3	30.4	2.4	35.4	2.8	30.5	2.6
20～29歳	40.1	3.3	39.3	3.2	37.5	3.0	38.1	3.1	37.7	3.2
30～39歳	70.7	5.8	69.4	5.6	66.7	5.3	63.8	5.1	64.8	5.5
40～49歳	93.2	7.6	98.8	8.0	99.8	8.0	91.9	7.4	96.8	8.2
50～59歳	160.5	13.2	147.6	12.0	141.6	11.3	138.6	11.1	126.9	10.7
60～64歳	142.3	11.7	136.1	11.0	134.5	10.7	127.6	10.3	105.9	9.0
65～69歳	126.1	10.3	128.5	10.4	128.1	10.2	133.9	10.8	139.5	11.8
70歳以上	513.0	42.1	517.7	41.9	530.1	42.3	526.0	42.3		
70～74歳									138.3	11.7
75歳以上									348.0	29.5
合計	1,218.7	100	1,234.1	100	1,254.3	100	1,243.2	100	1,180.7	100

出典：市立秋田総合病院調べ

(ウ) 地区別外来患者数

本院の外来患者は、9割弱が秋田市内からの来院となっており、そのうち中央および西部地域の患者が全体でも過半を占めています。また、秋田周辺医療圏を含む秋田県内からの来院が10%程度で推移しています。



単位：人、%

区分	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)		
	1日平均	構成比									
秋田市内	中央地域	423.6	34.8	424.2	34.4	421.3	33.6	415.2	33.4	390.0	33.0
	東部地域	132.6	10.9	146.4	11.9	154.1	12.3	153.2	12.3	150.1	12.7
	西部地域	332.9	27.3	325.9	26.4	322.1	25.7	326.8	26.3	307.2	26.0
	南部地域	89.1	7.3	91.8	7.4	99.7	7.9	98.0	7.9	95.7	8.1
	北部地域	76.8	6.3	80.5	6.5	85.5	6.8	84.6	6.8	81.5	6.9
	河辺地域	9.3	0.8	10.2	0.8	9.6	0.8	10.8	0.9	8.9	0.8
	雄和地域	12.0	1.0	11.7	0.9	13.3	1.1	11.8	1.0	10.7	0.9
小計	1,076.2	88.3	1,090.7	88.4	1,105.5	88.2	1,100.4	88.6	1,044.1	88.4	
秋田県内	133.6	11.0	134.5	10.9	139.7	11.1	134.8	10.8	126.4	10.7	
県外	8.7	0.7	8.8	0.7	8.9	0.7	7.6	0.6	8.9	0.8	
その他	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	1.3	0.1	
合計	1,218.7	100	1,234.1	100	1,254.3	100	1,243.2	100	1,180.7	100	

出典：市立秋田総合病院調べ

ウ 救急車搬送患者

(ア) 秋田市の救急搬送件数

秋田市で発生した救急搬送のうち、18%程度を本院で受け入れています。周辺病院の推移をみると、中通総合病院が、リニューアルした平成25年から救急搬送件数が大きく増加しています。

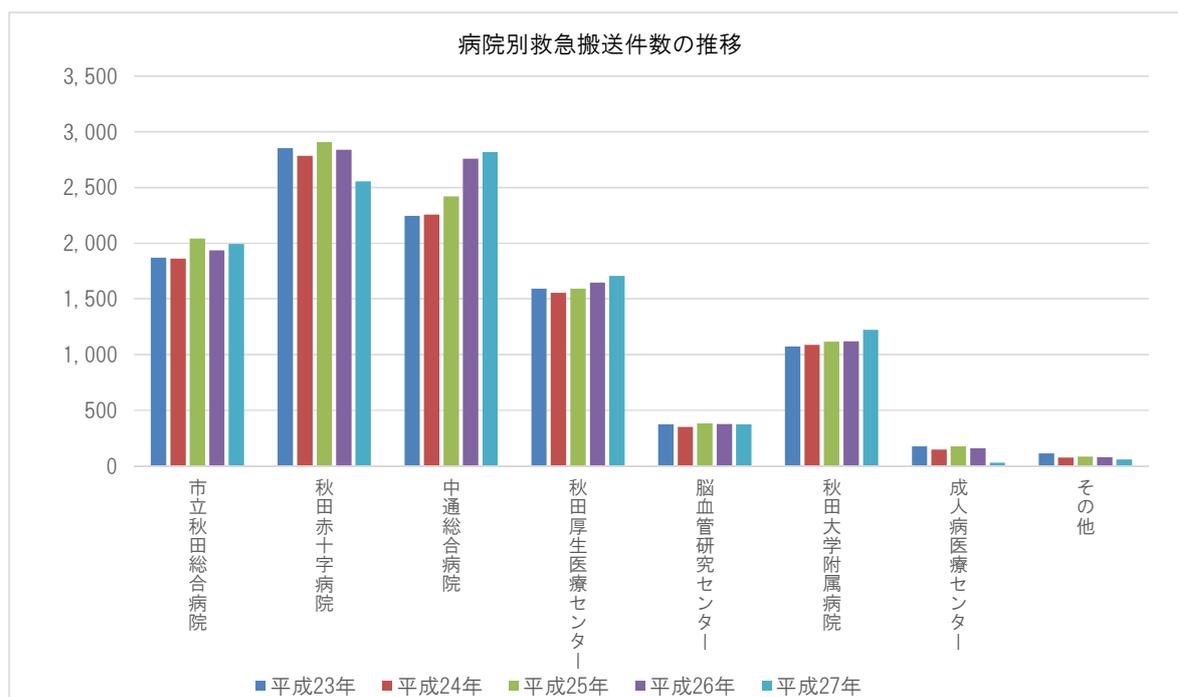
病院別救急搬送件数の推移

単位：件

搬送先施設	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
市立秋田総合病院	1,869	18.2%	1,861	18.4%	2,042	19.0%	1,936	17.7%	1,995	18.5%
秋田赤十字病院	2,851	27.7%	2,782	27.5%	2,908	27.1%	2,838	26.0%	2,554	23.7%
中通総合病院	2,245	21.8%	2,256	22.3%	2,420	22.6%	2,757	25.3%	2,819	26.2%
秋田厚生医療センター	1,593	15.5%	1,554	15.4%	1,591	14.8%	1,647	15.1%	1,707	15.9%
脳血管研究センター	373	3.6%	353	3.5%	383	3.6%	376	3.4%	373	3.5%
秋田大学附属病院	1,071	10.4%	1,088	10.8%	1,115	10.4%	1,120	10.3%	1,221	11.3%
成人病医療センター	177	1.7%	148	1.5%	176	1.6%	159	1.5%	30	0.3%
その他	114	1.1%	75	0.7%	85	0.8%	78	0.7%	60	0.6%
合計	10,293	100.0%	10,117	100.0%	10,720	100.0%	10,911	100.0%	10,759	100.0%

出典：秋田市消防本部年報（各年1月～12月）

※成人病医療センター：平成27年3月31日閉院



(イ) 診療科別救急搬送件数

本院の救急搬送件数は、整形外科、消化器内科、循環器内科の占める割合が高くなっています。推移をみると、平成25年度に減少したものの、その後は増加傾向にあります。

診療科別救急搬送件数

	平成23年度 (2011年)		平成24年度 (2012年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)	
循環器内科	263	12.8%	261	12.7%	259	12.8%	235	11.4%	199	9.4%
消化器内科	369	18.0%	340	16.5%	311	15.4%	295	14.3%	291	13.8%
呼吸器内科	102	5.0%	114	5.5%	108	5.3%	117	5.7%	95	4.5%
血液・腎臓内科	38	1.9%	38	1.8%	54	2.7%	35	1.7%	39	1.8%
精神科	109	5.3%	133	6.5%	123	6.1%	158	7.7%	124	5.9%
小児科	83	4.0%	98	4.8%	127	6.3%	120	5.8%	107	5.1%
外科	74	3.6%	81	3.9%	88	4.3%	77	3.7%	72	3.4%
整形外科	361	17.6%	339	16.5%	356	17.6%	318	15.4%	325	15.4%
皮膚科	13	0.6%	18	0.9%	16	0.8%	19	0.9%	13	0.6%
泌尿器科	104	5.1%	88	4.3%	100	4.9%	100	4.8%	73	3.5%
産婦人科	23	1.1%	33	1.6%	15	0.7%	21	1.0%	16	0.8%
眼科	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	2	0.1%
耳鼻咽喉科	126	6.1%	143	7.0%	131	6.5%	150	7.3%	140	6.6%
麻酔科	43	2.1%	45	2.2%	59	2.9%	34	1.6%	1	0.0%
神経内科	26	1.3%	53	2.6%	45	2.2%	41	2.0%	102	4.8%
脳神経外科	140	6.8%	172	8.4%	123	6.1%	151	7.3%	103	4.9%
心臓血管外科	95	4.6%	8	0.4%	15	0.7%	16	0.8%	12	0.6%
乳腺・内分泌外科	9	0.4%	4	0.2%	6	0.3%	5	0.2%	1	0.0%
糖尿病・代謝内科	2	0.1%	2	0.1%	0	0.0%	51	2.5%	45	2.1%
歯科口腔外科	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	1	0.0%
救急科	70	3.4%	84	4.1%	87	4.3%	117	5.7%	349	16.5%
合計	2,051	100%	2,055	100%	2,023	100%	2,062	100%	2,110	100%

出典：市立秋田総合病院調べ

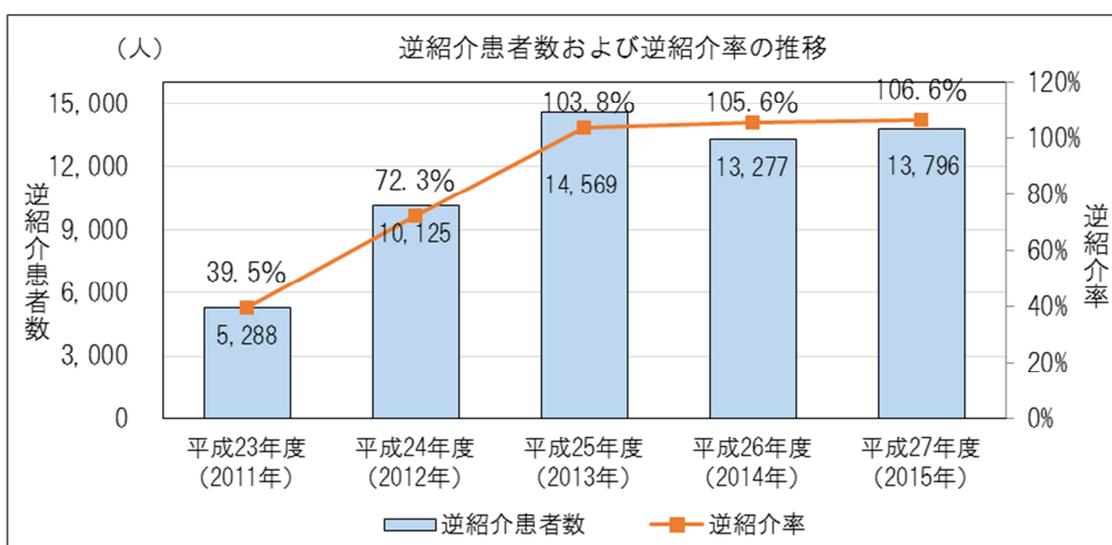
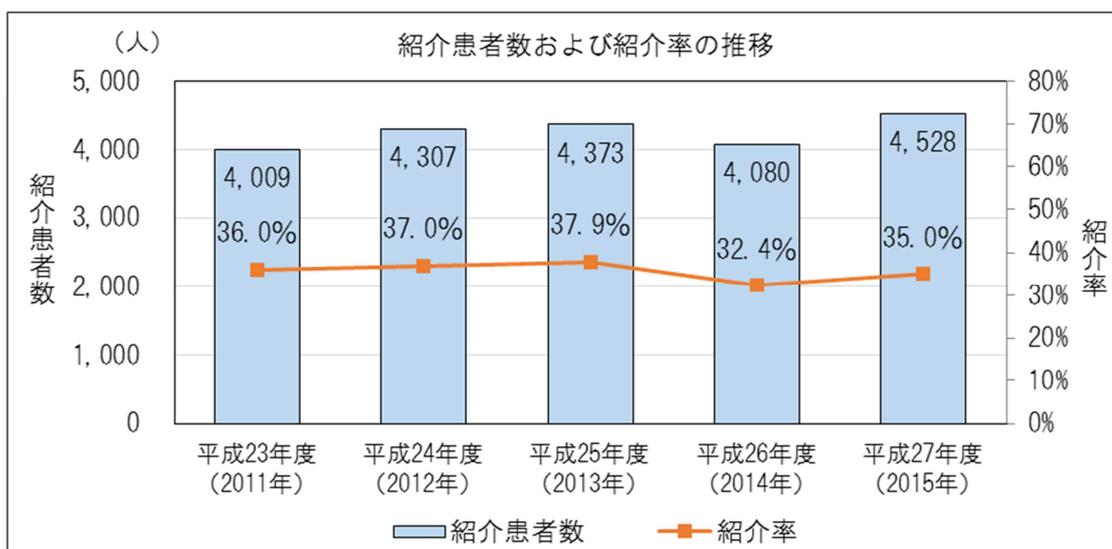
※秋田市救急隊以外からの搬送を含む。

エ 紹介患者

(ア) 紹介患者数・逆紹介患者数の推移

平成23年度からの紹介患者数は約4,000人から4,500人で増減しています。平成27年度の紹介率は35.0%となっており、地域医療支援病院の指定要件（紹介率が50%以上）には達していません。

逆紹介患者数は増加傾向にあり平成27年度は約13,800人となっています。本院の逆紹介率は非常に高く、100%超で推移しています。



紹介患者および逆紹介患者推移

項目	年度	平成23年度 (2011年)	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)
紹介患者数 (人)		4,009	4,307	4,373	4,080	4,528
紹介率 (%)		36.0	37.0	37.9	32.4	35.0
逆紹介患者数(人)		5,288	10,125	14,569	13,277	13,796
逆紹介率 (%)		39.5	72.3	103.8	105.6	106.6

出典: 市立秋田総合病院調べ

※地域医療支援病院用の計算方法による。

3 病床機能および病床規模

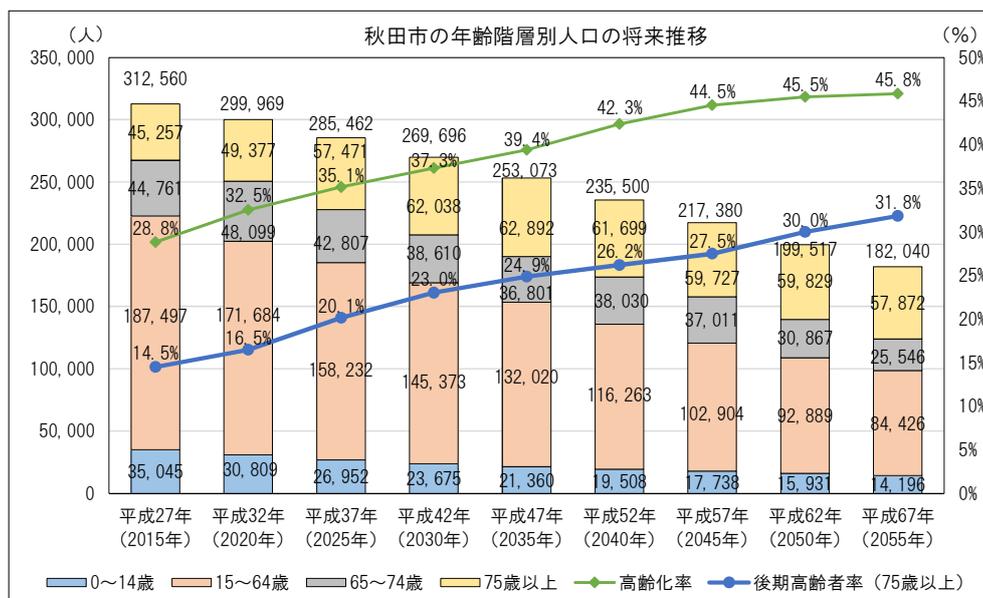
(1) 必要病床数の推計

ア 一般病床

将来推計人口、秋田県の受療率、本院の地域別来院患者の状況等から次のように必要病床数を推計します。

(ア) 将来推計人口

秋田市の将来推計人口は次のように推計されます。(再掲)



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

(イ) 秋田市の一般病床の患者数の推計

秋田市の将来推計人口に平成26年患者調査の秋田県の「性・年齢階級別・傷病大分類別受療率」を乗じて、各年の秋田市の1日当たり入院患者数（精神病床、結核病床、感染病床を除く。）を推計します。

この入院患者数に全国の病床区分ごと（一般病床、医療保険適用病床、介護保険適用病床）に入院している患者の割合を乗じて、秋田市の傷病分類別入院患者数を推計すると次のようになり、平成27年には2,427人の入院患者が推計されます。

傷病分類	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)
I 感染症及び寄生虫症	29	30	31	31	31	30	28	27	25
II 新生物	460	475	483	483	473	456	432	406	377
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	18	19	20	20	19	19	18	17	16
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	63	66	70	70	69	67	64	62	58
VI 神経系の疾患	263	273	290	296	292	283	270	261	247
VII 眼及び付属器の疾患	35	37	38	38	37	36	34	32	30
VIII 耳及び乳突突起の疾患	4	4	4	3	3	3	3	3	2
IX 循環器系の疾患	580	617	668	693	691	677	650	631	598
X 呼吸器系の疾患	179	190	206	214	214	210	202	199	191
XI 消化器系の疾患	173	179	186	188	185	179	170	162	152
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	18	19	20	21	20	20	19	19	17
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	167	175	182	183	179	174	166	158	147
XIV 泌尿器系の疾患	87	91	99	103	102	98	93	91	87
XV 妊娠、分娩及び産じょく	46	41	37	34	31	28	24	21	19
XVI 周産期に発生した病態	14	12	10	9	9	8	7	6	6
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	15	13	12	10	9	8	8	7	6
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27	28	30	31	31	29	28	27	26
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	235	243	251	253	250	242	230	219	205
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	14	13	12	12	11	10	9	8	7
合計	2,427	2,525	2,648	2,693	2,655	2,575	2,456	2,356	2,216

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

厚生労働省 平成26年度患者調査

(ウ) 本院の入院患者数の推計

平成27年度に本院の一般病床（ICU含む）を利用した1日平均患者数をみると、秋田市内の患者は270人となっています。

単位：人

	入院患者数	月平均	1日平均
秋田市	98,707	8,226	270
その他	18,396	1,533	50
合計	117,103	9,759	320

出典：平成27年度DPC様式1

(イ) で示したように平成27年の秋田市の一般病床の入院患者数は2,427人と推計されるため、秋田市の入院患者のうち本院に入院している患者の割合は11.1%（270人÷2,427人）となります。

秋田市の入院患者数のうち本院に入院する患者数の推計は、秋田市の推計患者数に、本院に入院する割合11.1%を乗じた値（平成27年の場合には2,427人×11.1%≒270人）となります。

また、本院の入院患者のうち、秋田市の入院患者割合は84.3%（98,707人÷117,103人）となります。

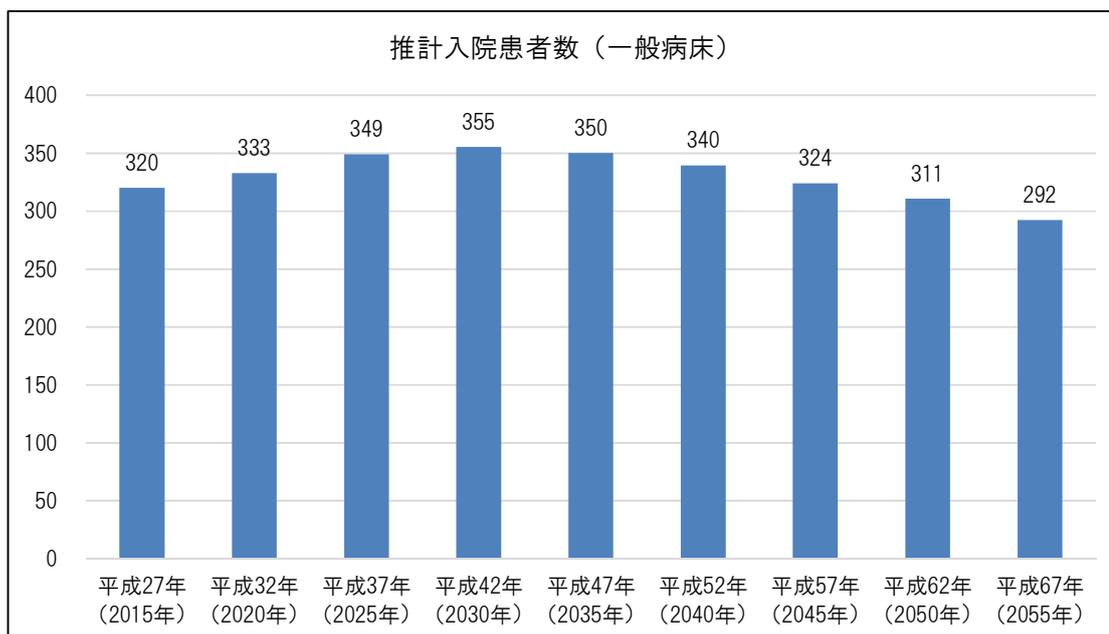
秋田市内から本院に入院している患者割合は84.3%であることから、秋田市以外からの患者を含めた総患者数は、秋田市内からの患者数を84.3%で割り戻した値（270÷84.3%≒320人）となります。

上記に基づき、本院の将来推計入院患者数を推計すると次のようになります。

秋田市の傷病分類別将来推計入院患者数（一般病床数）

単位：人

入院	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)
秋田市の将来推計入院患者数 A	2,427	2,525	2,648	2,693	2,655	2,575	2,456	2,356	2,216
市内住民の本院入院患者 B = A×11.12%	270	281	294	300	295	286	273	262	246
本院の推計入院患者数 C = B÷84.3%	320	333	349	355	350	340	324	311	292



(エ) 必要病床数の推計（ICU病床と地域包括ケア病床を含む病床数）

病床利用率85%および90%、平均在院日数11.8日（平成27年度の13.1日に対し10%の短縮を見込む。）と想定した場合の、本院の入院患者数を推計すると次のようになります。

病床利用率と平均在院日数の要因を考慮した場合、入院患者数のピークは平成42年頃が見込まれ、病床利用率90%の場合では355床、病床利用率85%の場合では376床が必要と推計されます。

以上の推計より、一般病床数（ICU・地域包括ケア病床を含む）は350～380床程度を整備することで、ニーズに対応できると考えられます。今後、1病棟当たりの病床数および看護師配置等を考慮した上で決定していきます。

単位：人

必要病床数の算定	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)
平均在院日数 現在と同様(13.1日)	320	333	349	355	350	340	324	311	292
平均在院日数短縮 -10%(11.8日)	288	300	314	320	315	306	292	280	263
病床利用率 90%(11.8日)	320	333	349	355	350	340	324	311	292
病床利用率 85%(11.8日)	339	353	370	376	371	360	343	329	310

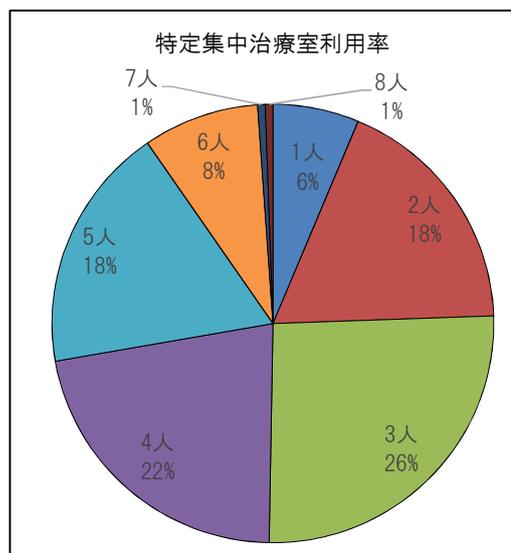
イ 集中治療室（ICU）

(ア) ICUの稼働状況

平成27年度のICU入院患者数は、年間1,403人となっており、その中の1,303人が「特定集中治療室管理料」の対象患者となっています。1日平均入院患者数は3.6人となり、病床利用率は59.5%となります。

ICUの稼働状況は下図右の様になっており、5床以上（83%以上）稼働している日数は28%となっています。

	ICU入院 患者数	特定集中治療室 管理料取得患者数
年間	1,403	1,303
1日平均 入院患者数	3.8	3.6
利用率	63.9%	59.5%



(イ) 新病院でのICUの整備

本院の基本方針の1つである「地域の中核的な公的医療機関として、高度・専門医療を提供する」ことを目指すうえで、ICU等の高度急性期病床は現状と同様の6床程度を整備することの重要性は高いと考えられます。

医師・看護師の配置やICUの入室基準の厳格化なども考慮して、「特定集中治療室管理料」ではなく「ハイケアユニット入院管理料」への変更や、患者数の状況によりICUの減床などの可能性を含め、継続検討とします。

ウ 地域包括ケア病床

(ア) 稼働状況

本院では平成28年6月より、39床を地域包括ケア病床として運用を開始しており、平成28年7月末までの2か月間の稼働状況をみると、延べ入院患者数は1,596人、1日あたり平均入院患者数は26.1人となっています。



(イ) 対象患者

本院に入院している患者のうち、地域包括ケア病床に入院する対象となる患者は、在院日数が長く^{※1}・医療資源の投下が少ない患者^{※2}を想定します。

上記2つの条件に当てはまる患者は、1日平均60.6人(延べ22,213人)となります。

※1：本院の平均在院日数が13.1日であるため、16日以上60日未満（DPC算定上の入院期間Ⅱの範囲）とする。

※2：本院の一人当たりの入院単価が29,245円であるため、30,000円以下を想定する。

単位：人

		入院日数					
		5日未満	6～10日	11～15日	16～20日	21～60日	61日以上
入院単価	25,000円未満	1,712	667	903	1,193	8,550	3,853
	25,001～30,000円	1,317	4,444	4,290	3,538	8,932	1,631
	30,001～35,000円	1,945	4,042	3,386	1,802	4,435	779
	35,001～40,000円	5,219	3,425	1,549	1,072	2,255	343
	40,001～45,000円	4,450	2,572	1,147	677	1,327	388
	45,001～50,000円	6,199	2,215	628	334	826	291
	50,000円以上	13,218	3,099	1,093	666	1,743	496

出典：平成27年度Dファイル

注：精神・結核を除く

(ウ) 地域包括ケア病床の設定

秋田県が策定する地域医療構想における秋田周辺医療圏の病床機能は次のとおりであり、当地域は回復期を担う機能（必要病床数1, 120床に対し、許可病床数243床）が不足しています。

また、(イ)より地域包括ケア病床の1日平均患者数は60.6人が見込まれるため、新病院においては、地域包括ケア病床を拡張し、現在の制度化※で最大の60床を整備してもニーズが見込まれます。

※「地域包括ケア病棟入院管理料」の施設基準において、「特定集中治療室管理料」を取得している医療機関が届出できる地域包括ケア病棟は1病棟に限る。また、1病棟当たりの病床数に係る取扱において、1病棟当たりの病床数は原則として60床以下を標準とする。

秋田周辺地域の必要と推計される病床数

医療機能	平成37年（2025年）		
	医療需要 （人/日）	必要と推計される病床	
		病床数（床）	構成比（%）
高度急性期	360	480	12%
急性期	1,098	1,408	35%
回復期	1,008	1,120	28%
慢性期	932	1,013	25%
計	3,398	4,021	100%

【参考】病床機能報告

平成26年度 病床機能報告	
病床数（床）	構成比（%）
872	22%
2,189	54%
243	6%
1,111	28%
4,415	110%

出典：第3回各地域医療構想策定調整会議資料

エ 精神病床

本院の精神病床は許可病床数60床で運用していますが、個室が少ないために、個別対応が必要となる身体合併症を伴った精神疾患を有する患者を十分に受け入れることが出来ない状況（稼働率58.3%）となっています。

新病院では、精神科病棟の個室率を高めることで身体合併症を伴った精神疾患患者を広く受け入れられるようになることから、1日当たり10人程度の患者数増を見込み、かつ稼働率を90%とした場合、精神病床は50床程度でも現在のニーズに対応できると考えられます。

現病院

	病床数	1日患者数	稼働率	備考
精神病床	60床	約35床	58.3%	個室率が低い



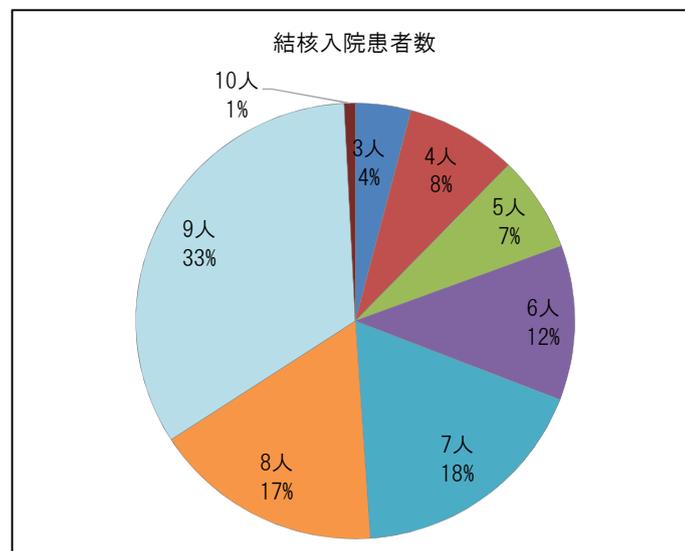
新病院

	病床数	1日患者	稼働率	備考
案①	40床	35床	87.5%	対象患者は現在と同様
案②	50床	45床	90.0%	身体合併症増に対応

※案②は1日当たり10人程度の精神疾患・身体合併症患者の増加を見込んだ場合

オ 結核病床

本院の結核病床の平成27年度の稼働状況は次のようになっています。入院患者は最大でも10人であり、若干変動を想定しても12床程度でもニーズに対応できると考えられます。しかしながら結核病床の病床数については、県の医療計画との調整が必要なため、継続検討とします。



カ 感染症病床

秋田周辺医療圏では第二種感染症指定病床が4床不足（結核病床を除く）しており、本院に対して県から感染症病床の確保を要望されています。自治体病院として地域に不足している医療機能の確保の必要性は認識しますが、財政負担等もあるため継続検討とします。

(2) 病床規模

以上の検討内容を基本とし効率的な看護単位や施設配置、県との協議を通して病床規模を決定することとします。

4 外来機能の検討

(1) 想定外来患者数

平成23年度から平成27年度の1日当たり外来患者数の平均は約1,200人となっています。また、秋田市の外来患者数推計の結果では外来患者数は減少傾向にあるため、新病院での外来患者数は約1,100人を想定します。

(2) 外来診療科目

診療科目は現状と同様の次の26科とします。(仮置き)

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液・腎臓内科、糖尿病・代謝内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、総合診療科（院内標榜）

5 秋田周辺医療圏および本院に係る課題

(1) 基本分析からの課題

ア 医療需要

平成67年の秋田市の人口は平成27年と比較し、約42%減少するものの、受療率の高い65歳以上の高齢化率は約2倍近く上昇すると推計されます。特に75歳以上の高齢化率は平成62年には30%を超えることが推計されます。

これより、入院医療需要を推計すると、平成42年の2,752人をピークに減少し、平成62年には平成27年の推計患者数を下回ると推計されます。

傷病分類別では、「循環器系」、「呼吸器系」疾患が微増するものの、その他の疾患は減少することが推計されます。

秋田市の入院医療需要は大きく減少することがないことから、引き続き適切な機能・規模を維持していく必要があります。

イ 救急医療

(ア) 一般救急

秋田周辺医療圏のうち、秋田市内には秋田県全域の三次救急を担う病院の3施設（秋田大学医学部附属病院、秋田赤十字病院、秋田県立脳血管研究センター）が集中しています。また、秋田周辺医療圏内には本院を含む8つの救急告示病院（うち6つが秋田市内）が集中しているため、これらの病院群との円滑な連携を図ることが求められます。

今後も高齢化の進展により救急患者数の増加が見込まれることから、それに対応可能な機能の充実が求められます。

(イ) 小児救急

本院は、平日は24時間、休日は9時30分から22時30分まで小児科医が常駐して初期診療にあたっているため、引き続き小児初期救急体制を維持していく必要があります。

ウ 精神疾患

現在、本院の精神病床は許可病床数60床で運用していますが、個室が少ないために、個別対応が必要となる身体合併症を伴った精神疾患を有する患者を十分に受け入れることが出来ない状況（稼働率58.3%）となっています。

新病院では、精神科病棟の個室率を高めることで身体合併症を伴った精神疾患患者を広く受け入れられるようになることから、1日当たり10人程度の患者数増を見込み、かつ稼働率を90%とした場合、精神病床は50床程度でも現在のニーズに対応できると考えられます。

エ 災害時における医療

秋田周辺医療圏には、4つの災害拠点病院（秋田大学医学部附属病院（基幹）、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、県立脳血管研究センター）が配置されており、本院はその後方支援を担う災害協力医療機関に位置付けられています。

また、本院はDMAT指定病院として、2チームのDMATが整備されています。

大規模地震や水害等の突発的かつ広域的な大災害時においても医療活動が継続できるよう、引き続き重要な役割を担っていく医療体制が必要となります。

6 建替えの必要性

本院は、将来にわたって秋田周辺医療圏の医療を担っていく必要がある中で、次のような施設面の課題を抱えているため、早期に建替えを進める必要があります。

(1) 建物の老朽化

本院は、昭和59年に竣工し、すでに建築後30年以上が経過し、各所で老朽化が見られ、漏水などを始めとする不具合が頻繁に生じている状況にあります。また、耐用年数（税法上の減価償却年数39年）からみても、建替えの検討が必要な時期を迎えています。

(2) 建物の狭あい化

病院全体や病棟部門の1床当たり面積、手術部門の手術室1室当たり面積を、近年の同規模病院と比較すると不足している状況です。病室が狭いことや1室当たり6床の多床室が多いため、現行の医療法上の基準による診療報酬の加算が取得できない状況にあります。

また、プライバシー保持が十分にできない点や、きめ細かな空調管理ができないために苦情が後を絶たない点、トイレが狭く車椅子での利用に向かない点など、患者のアメニティが十分確保されていないため、早期に改善を図る必要があります。

(3) 医療技術の高度化への対応

医療の高度化、専門化に伴う医療機器の設置スペース等が十分に確保できなくなっており、更なる医療の充実のためには、より多くのスペースや機能的な施設整備が必要です。

(4) 職員の環境の改善

職員の執務室や会議室等の面積不足、室数の不足等により、円滑かつ効率的な業務執行の妨げになっています。休憩室や更衣室を集約化して面積効率を高める一方で、執務空間の拡張や会議室の増設が必要です。

(5) 高齢化の進展等への早期の対応

「高齢化の進展等に伴う疾病構造の変化などを踏まえ、良質な医療を効率的に提供する体制を確立するため、入院医療を提供する体制の整備、医療における情報提供の推進および医療従事者の資質の向上を図る。」として、平成13年3月に第4次医療法改正が行われました。

その際、一般病床の基準については、病床面積および廊下幅が建設当時の基準（病床面積4.3㎡、廊下幅：片廊下1.2m、中廊下1.6m）の約1.5倍である病床面積6.4㎡以上、廊下幅：片廊下1.8m、中廊下2.1mになっています。

高齢化の進展等に応えるため、できるだけ早期に当該基準を満たし、良質な医療を効率的に提供できる体制の整備を進める必要があります。

第2章 全体計画

1 新病院の理念と基本方針

(1) 理念

市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

(2) 基本方針

1. 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
2. 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
3. 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
4. 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
5. 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

2 主要な診療機能の取組方針

上記の理念と基本方針のもと、地方独立行政法人制度の持つ自律性や柔軟性を最大限発揮し、効率的な業務運営を行うとともに、地域の中核的な公的医療機関として、がん診療をはじめとした高度・専門医療や救急医療、小児・周産期医療など、地域に必要な医療を継続的に提供することにより、市民の健康の維持および増進に努めます。

(1) 5疾病における本院の医療体制

ア がん

秋田県がん診療連携推進病院として、引き続き、がんに対する難易度の高い外科的治療をはじめ、低侵襲の非外科的治療、化学療法および放射線治療を行うとともに緩和医療を効果的に行い、集学的治療を実施します。

イ 脳卒中

脳卒中をはじめとした脳血管疾患に対しては、救急医療に対応する体制を維持するとともに、急性期および回復期リハビリテーションの充実に努めます。

ウ 急性心筋梗塞

24時間対応可能な冠動脈カテーテル治療とその後のICUでの管理により、更なる救命率の向上を目指します。

エ 糖尿病

チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等の糖尿病治療を提供するとともに、予防目的を含めた糖尿病教室を引き続き定期的に開催することにより、患者の意識啓発等の推進に努めます。

オ 精神疾患

市内における総合病院で唯一の精神科の閉鎖病棟を引き続き運営します。
また、高齢化に伴い身体合併症を有する患者が増加していることから、身体合併症を有する精神疾患の対応病院としてその役割が増大しており、今後も急性期入院治療をはじめとす

る総合病院に求められる精神医療の充実に努めます。

(2) 5事業における本院の医療体制

5事業のうち、本院では、これまで担ってきた以下の4事業について、引き続き事業を継続します。

ア 救急医療

心筋梗塞、急性腹症、脳卒中などへの緊急対応も可能な二次救急医療機関として、24時間365日の対応を継続します。

イ 災害時における医療

大規模な災害や事故などの発生時に被災地に駆けつけ救急医療を行うために組織した災害派遣医療チーム（DMAT）の2チーム体制を維持します。

また、災害時には、災害協力医療機関として、秋田市保健所・秋田市医師会等の関係機関や災害拠点病院と協力して対応に当たることとし、災害時対応訓練の強化と災害備蓄品の整備を行います。

さらには、病院間災害支援協定を締結している仙台市立病院および山形市立病院済生館との連携を維持し、災害時の人的・物質的援助を優先的に提供しあうこととします。

ウ 周産期医療

緊急母体搬送の受入れを行うほか、合併症妊娠、切迫流産、重症妊娠中毒症の管理を行うなど、正常分娩以外にも対応し、安全で快適な出産環境を提供します。

エ 小児医療

小児科医が平日24時間診療を行う小児科救急を引き続き実施するとともに、アレルギー外来の充実を図り、秋田市の目指す「子どもを生き育てやすい環境づくり」の一翼を担います。